

欧米メディアはロシア代表五輪参加に関する I O C の決定に不満

(スポーツニク 2016年07月28日 09:27 タチャナ・フロニ)

© AFP 2016/ Fabrice Coffrini <http://goo.gl/wzoMVY>

ロシア五輪委員会のアレクサンドル・ジューコフ会長は、国際オリンピック委員会（I O C）は2016年リオデジャネイロ五輪へのロシア代表の参加について決定を下す前に強い政治的圧力を感じただろうとの見方を示している。だが I O C は最終的にロシア代表をリオ五輪から排除しないと結論を出した。

これを受けて I O C とバッハ I O C 会長は「団結」と「フェアプレー」の原則から外れたとして欧米のマスコミから激しい批判を浴びた。しかし I O C が決断を下すずっと前から、「政治とスポーツの分離」というオリンピック理念の重要な基本原則に反して I O C の決定に何としてでも影響を与えようとしていたのは、まさに欧米のジャーナリストたちだった。

その最も分かりやすい例が、英国のタイムズ紙だ。タイムズは自社の見解を表しただけでなく、ロシア代表選手全員の五輪参加禁止をほぼ最後通告的に求める書簡を I O C に送った。書簡は、新聞社の指導的立場にあるスポーツ記者の署名付きで掲載された。また英ガーディアン紙は社説で、「リオはペテン師のための場所ではない」とのきっぱりとした声明を表した。アイルランドのジャーナリスト、ダニエル・ライアン氏は、R T 向けに書いた記事で、もし事の本質にかかわる「but」が一つもなければ、これは公正だったかもしれない、と指摘している。ガーディアン紙は、ロシア人選手全員の排除を願うことで「クリーン」なロシア人選手全員の処罰を呼びかけた。

なお幸い I O C の決定は、「スポーツは政治を超越する」という原則に基づいたものとなった。そのため I O C はロシア代表に関する声明の中で、大会に参加する重要な基準として選手たちの完全なる「クリーンさ」に重点を置いた。

国際テニス連盟（I T F）のプレスリリースでは、まさにこれらの原則のクリーンさを基盤に、五輪にエントリーしているロシア人テニス選手たちは2016年リオ五輪に出場するための要件をすべて満たしていると述べられている。この嬉しいニュースにロシア・テニス連盟の会長で I O C 委員でもあるシャミル・タルピシェフ氏は「スポーツニク」のインタビューで次のようにコメントした—

「ロシアは、クリーンなスポーツ選手たちに 2016 年リオ五輪への参加を許可するという I O C の決定を歓迎しています。オリンピックのために選ばれたロシア人テニス選手 8 人は、外国での検査で何度も最も厳しいアンチ・ドーピング・プログラムを受けました。2014 年の合わせて 205 のサンプルが同プログラムに加えられました。I O C 理事会の決定による現在の最も厳しい要求にこたえるためにはこれで十分だと思っています。テニスのロシア代表メンバー 8 人全員がオリンピックに出場します。なぜならリオ五輪への参加資格を得たロシア・テニス連盟の選手たちの中に、マクラレン氏の活動報告で名前が挙げられた選手は 1 人もおらず、誰もドーピングスキャンダルで信用を失墜させなかったからです。」

タルピシェフ氏は、ドーピングスキャンダルを受けてロシアのクリーンな選手たちはオリンピック開幕を前に今どのような気分でのいるのか？との質問に、次のように答えた―

「私達は、ロシア人選手たちのようにかつてドーピング問題を抱えていた世界的に有名な選手を含む外国人選手たちがオリンピックに出場するのを知っています。少なくとも彼らは落ち着いてオリンピックに参加しています。一方で、ドーピング問題による資格剥奪期間がとうの昔に終了していたとしても、ロシア人選手たちは参加していません。このような状況は公正かつ平等ではないように思います。ですからロシア人選手たちは強い意気込みを持つことでしょう。なぜならもし人間であれば、どんな選手でも不公平に対して、これはもちろんいい意味ですが、スポーツ的な怒りが湧き上がってくるからです。」

なお外国では全てのマスコミが I O C の決定にネガティブな反応を示したわけではない。NHK は 25 日、日本が誇る体操男子のエース内村航平選手が、ロシア勢が国ごとリオ五輪から排除されなかったことについて、「ドーピングをした選手は、永久に試合に出場できなくても文句を言えないと思うが、それが飛び火して、努力をして勝ち取った権利を持つ選手が、オリンピックに出られないのはおかしいし、かわいそうだと思っていたので、出場できることはよかった」と語ったと報じた。

イタリアのメディアも、I O C はラジカルな決定から逃れて妥協の道を選ぶことができたとの見解を取っている。伊紙コリエーレ・デラ・セラは、なぜならロシア代表全員の排除はまことに恥ずべきものとなったはずだからだと報じている。伊紙 La Stampa も同じように、「I O C は、一つの国全てを排除することができなかった。あまりにも多くのクリーンな選手たちが不当に処罰される場所だった。しかしもし I O C がオリンピック・ムーブメントにおけるドーピングの事実を隠した人々を実際に排除できるならば、ロシア人選手のみを排除に限るのはあまり意味がない」とコメントしている。

<http://sptnkne.ws/bNBY>

トルコ当局、国内メディアの大量閉鎖を発表

(スプートニク 2016 年 07 月 28 日 16:01)

◦ REUTERS/ Alkis Konstantinidis <http://goo.gl/lPfZTn>

トルコ当局はクーデターの試みを受け 16 のテレビチャンネル、3 つの情報通信社、23 のラジオ局、45 の新聞、15 の雑誌、29 の出版社を閉鎖する。公式メディア Resmi Gazete が水曜報じた。この決定は 3 ヶ月の期限で 20 日導入された緊急事態態勢の枠組みの中で取られた。先に伝えられたところによると、トルコでは軍事クーデターの試みに関する事件の調査で 1 万 3,000 人以上が拘束された。

<http://sptnkne.ws/bMK5>

国際競技連盟、ロシア人 250 人以上の五輪参加申請を承認

(スプートニク 2016 年 07 月 28 日 20:45)

© Sputnik/ Evgeny Biyatov <http://goo.gl/esWt6k>

国際競技連盟はロシア人選手 250 人以上のリオ五輪参加申請を承認した。ロシア 24TV がロシア五輪委員会のアレクサンドル・ジューコフ委員長の言葉を伝えた。競技によって全面承認のものも一部の選手のための承認もあるという。

IOC は 24 日、ロシアチーム全体を五輪から排除せず、個々の選手についてそれぞれのスポーツを統括する国際競技連盟が承認を行う、との決定を行った。

これはロシアの陸上選手には適用されない。国際陸上競技連盟 (IAAF) は幅跳びのダリヤ・クリシナ氏を除きリオ五輪へのロシア選手参加を認めていない。ローザンヌのスポーツ仲裁裁判所は IAAF の決定に対するロシア五輪委およびロシアの陸上選手らの請求を棄却している。

<http://sptnkne.ws/bMMs>

韓国からの放射性化粧品入りコンテナ、ロシアで差し押さえ

(スプートニク 2016 年 07 月 28 日 21:00)

◎ 写真: Pixabay <http://goo.gl/JXChRD>

ロシア税関が韓国からの化粧品入りコンテナを差し押さえた。放射線量が通常の 2 倍を超えていたからだ。ウラジオストックの税関が伝えた。

「ウラジオストック税関のザルビノ港にある税関ポストで高い電子放射線量のコンテナが発見された。コンテナは自然放射線の量を 2 倍以上超えていた。コンテナは韓国から中国に送られていたもので、ウラジオストックで積み替えされていた。」

書類によると、コンテナの中身は化粧品だと書いてあるという。税関は次のように述べた。

「わかっている限り、この積荷国民に脅威をもたらす。放射性化粧品入りコンテナは発送国に送り返された。」

危険な放射線量の化粧品が発見されたのは初めてだという。

<http://sptnkne.ws/bMQt>

ロシア選手団、五輪に出発

(スプートニク 2016年07月28日 21:05)

© Sputnik/ Anton Denisov <http://goo.gl/se0CvT>

リオ五輪のロシア代表選手団の出発セレモニーが木曜日28日、モスクワのシェレメチエヴォ空港で行われた。

マスメディアが報じるところ、16年度五輪に出発するのは現在のところ70人の選手。その中には男女バレーボール、女子ハンドボール、ボクシング、シンクロナイズドスイミング、卓球選手団が含まれている。

ロシア五輪委員会のアレクサンドル・ジューコフ会長は、五輪のロシア代表選手団の最終的なメンバー構成は7月の30日か31日に発表されると発言した。

ジューコフ会長によると、出場する代表選手団は「クリーンな」チームだという。先に伝えられたところによると、国際競技連盟はロシア人250人以上の五輪参加申請を承認した。

<http://sptnkne.ws/bMRq>

トランプ氏、ロシアに行方不明になったクリントン氏のメール探すよう呼びかける

(スプートニク 2016年07月28日 21:09)

© Sputnik/ Alexey Filippov <http://goo.gl/8rfWz4>

米大統領選の共和党候補トランプ氏は記者会見で、ロシアに民主党の大統領候補クリントン氏の行方不明になったメールを見つけるよう呼びかけた。CNNテレビが報じた。トランプ氏は次のように発言した。

「ロシアよ、もし聞いていたら、行方不明の3万通のメールを見つけることを期待している。おそらく我われのメディアに表彰されるだろうと考えている。」

トランプ氏はツイッターでもこのことについて言及し、次のように書いた。「もしロシアもしくは他の国や人が、不法に削除されたヒラリー・クリントン氏の3万3,000通のメールを持っているのなら、FBIとシェアすべきだ」。

[twitter.com/ https://twitter.com/realDonaldTrump/status/758335147183788032](https://twitter.com/realDonaldTrump/status/758335147183788032)

またトランプ氏は、氏のロシアのハッカーへのアピールは皮肉な冗談だったとすでに弁明している。トランプ氏はFOXニュースのインタビューで次のように述べた。

「もちろん私は皮肉的だった。彼ら(米政府)は、正直に言えば、これがロシアによるものかすら知らない。全くわかっていない。ロシアか中国か、それとも他の誰かによるものか、誰が知っているだろう？ 3万3,000の行方不明となっているメールは、民主党全国委員会のメール流出事件のように、本当に問題だ。」

先に伝えられたところによると、トランプ氏は、当選の場合はクリミアの認定問題を検討する意向と述べた。

<http://sptnkne.ws/bMSz>

トルコ外務省、大量解雇と日本に逃げた外交官について語る

(スプートニク 2016年07月28日 21:20)

© AFP 2016/ Adem Altan <http://goo.gl/NCMfwj>

トルコのメヴリュト・チャウシヨグル外相は、クーデターの試みに関連して、省員88人を解雇したことを発表した。NTVが伝えた。うち2人が大使であり、カザンのトルコ総領事館の従業員は日本に逃げたという。

トルコの反政府グループが15日夜、軍事クーデターの試みを行った。トルコのイルディリム首相によれば、以来、軍人、警察官、裁判官や検察官など1万3,000人が拘束された。国家公務員約4万5,000が解職された。

<http://sptnkne.ws/bMSP>

ロシア、シリアでの大規模人道作戦開始

(スプートニク 2016年07月28日 20:33)

© Sputnik/ Iliya Pitalev <http://goo.gl/obErX8>

ロシアとシリアは大規模人道作戦の一環で、アレッポの民間人が包囲された町を抜け出せる人道回廊を3つ開いた。ロシアのセルゲイ・ショイグ国防相が声明した。人道回廊地域で暖かい食事と医療支援を展開するよう我われは国防相は指示した。ショイグ国防相は理由として次のように述べている。

「我われは敵対勢力に停戦を一度ならず呼びかけた。しかし武装勢力は毎回停戦を破り、居住地区を攻撃した。結果、アレッポの町とアレッポ郊外では人道的状況が深刻化した。」

さらにもう1つの、カステッロ道路に向かう人道回廊がアレッポ北部で開かれる。これは、武器を置くことを希望する包囲された戦闘員のためのものだ。

<http://sptnkne.ws/bMT8>

ウクライナ議員サフチェンコ氏、米空挺部隊と休暇を取っていた

(スプートニク 2016年07月28日 22:20)

© AP Photo/ Sergei Chuzavkov <http://goo.gl/xidZ3I>

ドンバスでロシア人ジャーナリストを殺害したとしてロシアで有罪とされ、のちプーチン大統領の恩赦を受けたナジェージュダ・サフチェンコ氏は、オデッサの米国船で休暇をとっていた、と述べた。

米国船は米ロ軍事演習「シーブリーズ 2016」に参加していた。サフチェンコ氏が「112 ウクライナ」テレビに語ったところでは、先週、彼女は「議員は皆休暇に入っており、せめて1週間でも人々から遠ざかろうと、オデッサに行くことにした」。そこで議員は米海軍の船を訪れ、空挺部隊とともに一日を過ごした。

ナジェージュダ・サフチェンコ氏はウクライナ軍人で、Mi-24のナビゲーター・オペレーターであり、2014年11月からはウクライナ国会の議員も務める。ロストフ州（ロシア）のドネツク市裁判所によってルガンスク郊外で2014年6月17日に行われた「全ロシア国営テレビ・ラジオ放送会社ジャーナリストの殺害に関与」したとして懲役22年を言い渡され、名が知られるようになった。2016年5月25日にはロシア大統領令によって赦免、故郷に戻された。

<http://sptnkne.ws/bMU5>

ベトナムの税関職員、中国女性のパスポートに罵言を書きつける（写真）

(スプートニク 2016年07月28日 21:17)

© AFP 2016/ Ozan Kose <http://goo.gl/xC53Hw>

ホーチミン市のタンソンニャット国際空港パスポートコントロールを通過する際、中国女性のジョン氏が税関職員にパスポートを提出した。2分ほど後戻ってきたそれを見ると、2ページにわたり「F*ck you」と書かれていた。

それはちょうど悪名高い九段線（九段線、またはU字線、牛舌線は、南シナ海の領有権問題に関して、1953年から中国がその全域にわたる権利を主張するために地図上に引いている破線である。）のページだった。

twitter.com/ <https://goo.gl/oLIV0f>

女性はベトナム語を話さないので、侮辱に応答しなかったという。Sohu が伝えた。女性は中国に戻ったあとパスポートを新調する予定だという。

空港の指導部はすでに、事件の調査を行い、責任者を厳しく処罰する、と発表している。しかし、一部のユーザーは、問題は政治ではなく、税関職員は単にチップを期待していたに過ぎない、と見ている。

<http://sptnkne.ws/bMUR>

知られざるチュヴァシ共和国、日本企業に選ばれる理由とは？

(アップデート 2016年07月28日 22:40 徳山あすか)

◎ Sputnik/ セルゲイ・コロブコ <http://goo.gl/AdClvR>

ロシアには様々な民族が暮らしている。ロシアという大きな一つの国の中に、「国の中の国」である共和国が、22国存在しているのだ。ダイヤモンドで有名なサハ共和国など日本人に馴染みのある共和国もあるが、今回ご紹介するチュヴァシ共和国については、ご存知ない方も多いのではないだろうか。

チュヴァシ共和国はモスクワから東に約630キロ、ヴォルガ河の上流に位置している。人口は130万人弱で、青森県と同じくらいだ。そのうち七割程度をチュヴァシ人が占めている。その中心都市、チェボクサルィ市に工場を構えているのが、フジクラだ。フジクラ本社の孫会社にあたる「フジクラ・オートモーティブ・ロシア・チェボクサルィ」では、フォルクスワーゲンとシュコダ（チェコの自動車メーカー。フォルクスワーゲンの子会社）に納入するためのワイヤーハーネスを製造している。工場は2015年にオープンし、同年10月から安定的に生産を行っている。

工場建設予定地を探すにあたってフジクラの常務執行役員・鎌田一郎氏や担当者らは、3年間かけてロシア各地を見て回った。その際に関係者から勧められ、候補に入ったのがチェボクサルィだった。鎌田氏は当初「チェボクサルィと聞いてもピンと来なかった」という。しかし他の工業団地と比べるうちに、チュヴァシ共和国のメリットが見えてきた。行政のサポートがしっかりしているのだ。鎌田氏は、チュヴァシ共和国当局の姿勢を高く評価している。

鎌田氏：「工場建設の決め手になったのは、地方政府からいかに協力を頂けるかという点です。チュヴァシ共和国のミハイル・イグナチェフ首長は純粹でストレートな方。問題が起こったら、地方政府当局が解決に動いてくれるのは大事なことです。」

チュヴァシ共和国のアヴリェーリキン経済発展・産業貿易大臣は日本企業に投資を呼びかけるにあたり、「チュヴァシ共和国は政治的に安定しており、フィッチやムーディーズといった格付け機

関からも投資環境が良好であるとの評価を得ています。ロシアといえば資源大国のイメージがありますが、チュヴァシ共和国にはこれといった天然資源がないので、日本のように人的資源が重要になってきます。その意味でも、日本の貴重な経験に学ぶことは大事です」と述べた。

筆者の印象では、チュヴァシ人には純朴で真面目な人が多く、おもてなし精神があり、日本人との相性も良さそうだ。湖が点在する自然豊かなチュヴァシ共和国はモスクワから飛行機で2時間。大都会の喧騒に飽きたら、ロシアの中の異国を訪れてみるのもよいだろう。

<http://sptnkne.ws/bMWw>

ロシア政府で大規模改編があった

(スプートニク 2016年07月28日 22:47)

© Sputnik/ Michael Klimentyev <http://goo.gl/F19V31>

28日、ロシア政府システムで大規模改編があった。キーロフ、カリーニングラードとヤロスラブリ州とセヴァストポリで新たなリーダーが誕生した。最も重要な決定の1つとなったのは、クリミア連邦管区と南部連邦管区が合併したことだ。

今日なされた2つの退任は長らく予測されていたものだ。連邦税関庁のアンドレイ・ベリヤニノフ長官と、キーロフ州のニキータ・ベールイフ知事が解任された。ベールイフ氏は「信頼の喪失を受けて」罷免された。以前、ベールイフ氏は収賄の罪で起訴された。

ベリヤニノフ税関庁長官はメドヴェージェフ首相が更迭した。ベリヤニノフ氏は高級アルコール品の密輸の件で最近調査されていた。税関庁長官にはそれまで北西連邦管区知事の全権代表を務めていたウラジーミル・ブラウィン氏が充てられた。

<http://sptnkne.ws/bMXG>

仏最大手マスメディア、テロリストの名前と写真公開を拒む

(スプートニク 2016年07月29日 00:21)

© REUTERS/ Eric Gaillard <http://goo.gl/PKuPo1>

一連のフランスのマスメディアがテロの容疑者の名前と写真の公開を拒んだ。理由は、死後に犯罪者の名を挙げることを望まないからだという。英紙ガーディアンが報じた。非公開を支持するのは特に、ルモンド紙、カトリック系のラクロワ紙、BFM-TVテレビ局、Europe 1ラジオ、メディア持ち株会社フランス・メディア・モンド、そしてテレビ会社France 24だ。

27日付けラモンド紙の社説「憎悪戦略に対抗して」では、組織としてのマスメディアはテロとのグローバルな戦いに参加し、テロの報道方法を変えなければならないと指摘されている。キャンペーンに参加したラジオ局は、テロリストの名前を放送することと、彼らの写真をサイトに掲載することを辞めるといふ。テレビ局は、テロを起こした犯人の写真を放送するのをやめるといふ。すべてのメディアがラモンド紙の例に従ったわけではない。リベラシオン紙、フィガロ紙、ル・ヌーヴェル・オブセルヴァトゥール誌は、状況に応じて判断していくと声明した。

<http://sptnkne.ws/bNab>

「アル=ヌスラ戦線」、「アルカイダ」との関係断絶を発表

(スプートニク 2016年07月29日 02:15)

◎ REUTERS/ Khalil Ashawi <http://goo.gl/kWpVg7>

「アル=ヌスラ戦線」のテロリストらは木曜、「アルカイダ」とのすべての連絡を閉ざすと確認した。BBCが伝えた。アル=ヌスラ戦線を率いるアブー・ムハンマド・アル・ジュラニ師がアルジャジーラ放送に語ったという。また、組織は「アル=ヌスラ戦線」から「フロント・ファトフ・アシュ・シャム（シリア征服戦線）に改名するという。組織は今後シリアで戦う他のイスラム主義組織に接近する可能性があるという。先に伝えられたところによると、米国で9.11同時多発テロ報告書の極秘ページが公開された。

<http://sptnkne.ws/bNdu>

中国、南シナ海でロシアと合同演習する計画を伝える

(スプートニク 2016年07月29日 05:58)

◎ AFP 2016/ STR <http://goo.gl/62Nc9Y>

中国は南シナ海でロシアと合同演習を実施する意向だ。共同通信が中国国防省の楊宇軍（Yang Yujun）報道官の声明を引用して報じた。演習は空海軍によるもので、9月を予定されている。確かな実施場所は述べられていない。楊宇軍報道官は、演習の目的を2国の軍の関係を強化し、海洋で起きる脅威への準備ができているかの確認だと説明した。中国国防省は、演習は何かしらの第3国に向けられたものではないと述べた。先に伝えられたところによると、ハーグの常設仲裁裁判所は、中国には南シナ海で同国が管理下に置く領海を意味する所謂「九段線」の歴史的根拠を主張する法的根拠はないとの判決を下した。

<http://sptnkne.ws/bNpZ>

ポーランドでウクライナ兵士による女子供殺害の説明書が公開される

(スプートニク 2016年07月29日 07:19)

◎ 写真: Public domain <http://goo.gl/eAFqMC>

ポーランドの国家記録院がウクライナ蜂起軍の書類を公開した。そこには、女性や子供を殺す命令が書かれていた。ポーランドの『Dziennik Wschodni』紙が報じた。書類は16年3月ポーランドのChochłów村で偶然発見された。そこには森での生き延び方、「ポーランドの武装勢力から地元ウクライナ人を守る方法」などの説明が書かれていた。その中に、必要であれば女性も子供も殺す必要があるとかかれていた。ウクライナ蜂起軍のメンバーには、ポーランド系の夫もしくは妻を殺すことも推奨されていた。

7月22日ポーランド下院は、ヴォルィーニの悲劇は大虐殺であると最終的な決定を下し、7月11日をこの大虐殺の犠牲者の記念日に決定した。これはウクライナ最高議会の憤慨を招いた。ヴォルィーニ大虐殺とは、1943年におきたウクライナ蜂起軍によるポーランド民族の虐殺だ。虐殺の犠牲者の数は3万人から10万人と説によって幅がある。先に伝えられたところによると、1945年、アドルフ・ヒトラーは、10年間住んでいアルゼンチンに避難を求めた可能性がある。

<http://sptnkne.ws/bNp5>

人々を大量殺人へと追いやる現代生活の要因とは何か？

(スプートニク 2016年07月29日 09:02 タチヤナ・フロニ)

◎ AFP 2016/ Sakis Mitrolidis <http://goo.gl/QQYafa>

最近多くの犠牲者を出す殺人事件がほぼ毎週のように起こっている。その残酷さは、人々を驚かせている。ベルギー、フランス、ドイツなどで事件が起こっている。欧州はショックを受け、当惑し、その原因を理解しようとしている。問題はテロリストらの影響が拡大していることにあるのだろうか？ それとももっと深いところに原因があるのだろうか？

今週、日本でも悲劇が起こった。単独で殺人を犯した人物は、テロリストそれとも手のつけられぬ悪党、あるいは絶望的な敗者、はたまた精神不安定者なのか？ロシアの元駐日本大使アレクサンドル・パノフ氏は、これは新しい問題でも今に始まった問題でもないため、全ての説明はあまりにも原始的だとし、次のように語っている—

「日本は他の多くの国と同じように流血の惨事を免れることはできなかった。だがこのような事件は過去にも起こっている。東京の地下鉄でオウム真理教の信者たちが神経ガスを撒き、大勢の人が死亡した事件を思い起こすだけでも十分だ。秋葉原では精神不安定の日本人がトラックで人込みに意図的に突っ込む事件もあった。これと同じような事件が最近ニュースでも起こっている。ニュースと同じく無実の人が大勢死亡した。欧州は今、打撃を受けている。欧州では以

前にも単独犯による殺害事件が発生しているが、それでも打撃となった。単独犯の例の1人が、ノルウェーで冷酷に銃を乱射して約80人を殺害したブレイヴィク受刑者だ。ロシアにも例がある。もちろんこれは世界と人々を包み込んだ狂気の沙汰として考えることができる。しかしより可能性の高い原因として、あまりにもテンポの速い、あらゆるものに溢れた生活を挙げられるかもしれない。これは事実上インターネットや、毎日のように見せられている残酷さと密接に結びついている。またこのような現象は子供のゲームの中にさえも存在している。テレビでは誰かが殺されたり、強姦されたりする場面がノンストップで放送されている。そしてこれらの恐ろしいものが人々の意識の中ではすでにほぼ普通の状況として埋め込まれている。専門家たちはこの現象を詳細に研究するべきだ。」

一方で現代社会は問題を調査するだけで、その問題を迅速かつ効果的に解決することはできない。なぜならインターネットや他の情報の自由を禁止するのは不可能であり、問題は私たちのライフスタイルと密接に結びついているからだ。これは誰もが今後テロリストや精神病質者と隣り合わせで暮らす可能性があることに甘んじなければならぬことを意味しているのだろうか？ パノフ氏は、次のように語っている—

「残念ながら、これは修辭的な質問だ。なぜなら実際のところ人間の行動を予測し、管理するのは不可能だからだ。欧州の例が今それを見事に表している。そして問題は、ドイツが移民のために広く門戸を開いたからだというのとは全く違う。例えば、誰がつつがなく暮らしていると思われていたドイツのティーンエイジャーの行動を予見できたというのか。さらにもしその人物が精神的におかしかったとしても予見できる可能性は低い。もし誰かが人を殺したい、人を殺す用意があると公然に言ったとしても、我々の社会にはその人物を止める法的メカニズムが事実上ない。我々の社会はそうにつくられている。」

なお、単独殺人者による悲劇は発生しているが、このような事件が日常的に起こっているわけではない。今日、全世界の深刻な脅威となっているのはテロリズムだ。テロは影響力を拡大し続けており、過激思想はインターネットを介して広がっている。社会は一人ひとりの生命の不可侵などを含む真の価値を重視しなければならない。フランスのオランド大統領は、ノルマンディーの教会が過激主義者らに襲撃されたあと、テロとの戦いは長期にわたるがフランスはテロリズムに勝つことを義務付けられていると述べた。なおロシアのプーチン大統領は、成功に達するためには全ての国が力を合わせるしかないと考えている。問題は、それがいつ実現するかということだ。

<http://sptnkne.ws/bNn9>

トルコ元首相、ロシアの Su-24 撃墜を命令したと認める

(スプートニク 2016年07月29日 10:45)

© REUTERS/ Gleb Garanich <http://goo.gl/nESqQK>

トルコの元首相アフメト・ダウトオール氏は、昨年11月にロシアの Su-24 爆撃機を撃墜する命令

を与えたのは自分であると述べた。ヒュッリイェト・デイリーニュースが報じた。同氏は、命令はロシアの航空機1機だけでなく、トルコ領空の安全保障の一般的なやり方であるという。「我が国の慣例では、首相が書面で参謀に交戦規則を与える。私はそうした指令を10月10日に出した」。15日、NTVに語った。

10月指令は許可なしにトルコ領空を侵犯するすべての航空機に適用されるもので、シリアだけに限られるものではない、と元首相。指令は「シリアで作戦を行うロシアの航空機の度重なる侵犯」を受けて出されたという。

<http://sptnkne.ws/bNmq>

中国は日本のスパイを捕まえているのか？それとも日本に精神的圧力をかけているのか？

(スプートニク 2016年07月29日 14:04 リュドミラ・サーキャン)

© AFP 2016/ Kazuhiro Nogi <http://goo.gl/NWJA75>

中国で日中交流団体の幹部の日本人男性が拘束された。団体は7月11日にシンポジウムの開催などについて中国側と協議するために北京を訪れた。拘束された男性の名前は公表されていないが、男性と連絡が取れなくなったという。日本外務省は、中国側に面会を求めている。

28日、菅官房長官は記者会見で、中国で日本人男性が拘束されたことを認めたが、スパイ容疑への関与は否定し、「日本政府はいかなる国に対しても、そうした活動に従事してはいない」と述べた。なお中国では2015年だけでも4人の日本人がスパイ容疑で拘束されている。また中国国家安全部によると、習近平氏が中国の国家主席に就任した2012年から、10人の日本人が同じくスパイ容疑で拘束された。中国側の指摘では、拘束された日本人たちは主に政治構造や外交コンタクト、中国の軍事産業、北朝鮮情勢などに関する情報収集活動を行っていたという。なお日本は諜報活動への関与を否定し、拘束は日本へ圧力をかけるための手段だと主張している。

モスクワ大学政治学部の教授でロシア安全保障会議付属科学評議会のメンバーでもあるアンドレイ・マノイロ氏は、今の状況について次のようにコメントした—

「日本人がスパイ活動をしたはある。なぜならこのようなチャンネルをあらゆる国の諜報機関が利用しているからだ。もしそうだとしたら、もちろん彼の任務には諜報員と会うことも、何らかの機密情報を渡すことも含まれていない。このような人たちの任務は、政治エリートや様々なポストに就いている特定の役人たちの調査だ。一般的にそのような人々に関する書類はすでに存在している。豊富な経験を持つ諜報機関の職員であれば、人物の完全な心理的肖像画を描くために2-3回個人的に会うだけで十分だ。知られているように、中国は今汚職対策を実施している。そのため、もし役人の評判を落とすようなデータが存在した場合、これはその人物を自分の側に引き入れるための前提条件となる。一方で一般的にこのような種類の出来事は、常に国同士の間で行なわれている政治ゲームに関わっている。そのため中国当局の行動が両国

の領有権争いに関係している可能性も排除してはならない。関係が悪化したり、あるいは故意に悪化させる必要がある場合、通常は対立する側の人間がスパイ容疑で拘束され、時にそれは後に追放、PR効果、またマスコミへの違法行為に関する情報漏洩などを伴うことがある。そしてこれは、圧力をかけるための効果的な手段となっている。例えば、双方が何らかの出来事に関係しており、何かしらの考え方や価値観、また相互理解や交渉の調整を求めていることなどを発表しているとする。スパイの拘束は、一方の側に他方をフェアプレーではないとして非難するチャンスを与える。すなわち事実上、相手を騙しているということだ。そしてこれは関係発展にとって深刻な影響を持つ可能性がある…」

以前、中国人や外国人が旅行で訪れる中国の南シベリア島で日本人が拘束された。中国のマスコミは、観光客の中に中国が2014年から島で建設を始めた軍事施設に関心を持つ外国のスパイがいる可能性がある」と報じている。多くの専門家たちは南シベリア島について、島からわずか300キロの尖閣諸島周辺での日本の船舶の移動を監視する場所として非常に便利だとの見方を示している。

<http://sptnkne.ws/bNmm>

NATO最高司令官、ロシア軍の力に感銘

(スプートニク 2016年07月29日 20:31)

◦ Flickr/ UNC-CFC-USFK <http://goo.gl/QZ0EdB>

NATO欧州連合軍最高司令官を務めるカーティス・スカパロッチェ陸軍大將が、ロシア軍の軍事ドクトリンと進歩に感銘を受けた。スカパロッチェ最高司令官は米コロラド州の町アスペンの安全保障に関するフォーラムで演説中にそう発言し、次のように述べた。

「ロシア軍の軍事ドクトリンの非常に多くの部分が古いソ連時代のドクトリンに立脚しているにもかかわらず、彼らの将校が書いてあることを見てみると、彼らの発想は非常に柔軟なのがわかる。彼らは自らを取り巻く世界を、彼らが見るようになっており、それを基にドクトリンを適応させている。これは感銘させる。」

スカパロッチェ最高司令官はまた、ロシア空軍の「明らかな近代化」を指摘した。氏はシリアでの対テロ作戦で示されたロシアの可能性に驚いた。スカパロッチェ最高司令官は、ロシアは「非常に真剣に受け止めなければいけない敵」だとも付け加えた。

先にロシア外務省のマリヤ・ザハロワ報道官が指摘したところによると、「NATOは、トルコでの軍事クーデターを阻止するため働く代わりに、偽りの『ロシアの脅威』なるものに取り組んでいた」。

ロシア政府はNATOと米政府のいわゆる「ロシアの脅威」という発言に一度ならずコメントしてきた。ロシアのドミトリー・ペスコフ大統領報道官は次のように述べている。「我われは生まれ

変わっているロシアはだれにとっての脅威でもないと一度ならず述べてきた」。またペスコフ大統領報道官は、ロシア政府は国益を守る意向だと付け加え、次のように述べている。「ロシアは全てのパートナーの利益を考慮した互惠協力と紛争状況の合同解決のため逐次努力している」。

<http://sptnkne.ws/bNtH>

ロシアがウクライナに対しロンドン高等法院に請願書提出

(スプートニク 2016年07月29日 19:18)

© Flickr/ Ben Sutherland <http://goo.gl/1ZeQ8f>

ウクライナの30億ドルの対ロシア債務不履行に対する申し立てを略式で解決するよう、ロシアはロンドンの高等法院に請願書を提出したとロシア連邦財務省が声明した。請願書の聴聞は2016年末に行われるはずだ。そして、肯定的な結果ができれば、長大な裁判プロセスを実施する必要はなくなる。そうなった場合、実質的に17年初めにはもう最終決定がなされる可能性もある。

ロンドンの高等法院へのロシアの請願書には、ウクライナは債務者という自らの立ち位置を守るため、「自らの負債を返済するようにとの明白な要求に何の関わりがなく、そしてしばしば現実に即していないような全く政治的な論拠」を初めから利用していることが指摘されている。

前にウクライナのアレクサンドル・ダニリュク財務相は、対ロシア債務は「政治的負債」だったため、ウクライナはロシアに返済する必要がないと声明した。国債はウクライナのユーロ建てソブリン債の購入を通じて、2013年にロシアから提供された。

去年15年末まではウクライナは適切に債務を返済していたが、対ロシアの国籍の返済にモラトリアムを宣言した。ウクライナは、ロシアが商業的な貸し手と同じ条件の債務に再構築することを期待している。しかしロシアは、この債務はソブリン債だと主張し、その申し出を拒否した。先に伝えられたところによると、IMF、ウクライナ向け国際金融支援に際し、ロシアからの借款を計算。

<http://sptnkne.ws/bNuS>

露政府、シリアへの航空宇宙軍配備協定を承認

(スプートニク 2016年07月29日 22:04)

© Sputnik/ Dmitriy Vinogradov <http://goo.gl/ZpQ45o>

ロシアは、シリアにロシア航空宇宙軍を配備するという協定を承認し、プーチン大統領に書類を提出された。その後、批准のため書類はロシア下院に送られる。前に、ロシアとシリアは航空宇宙軍部隊のシリアへの無期限配備について話をつけた。協定には去年8月シリアの首都ダマスカスで

調印された。文書では、シリア政府は無償ベースでロシアにアインアルアサド空軍基地を、事前に双方によって決められるインフラと領域とともに提供すると書かれている。

現在、アインアルアサド空軍基地には対テロ組織「ダーイシュ（イスラム国、I S）」作戦に参加している飛行機やヘリコプターがある。

シリアでの軍事紛争は2012年から続いており、様々な武装グループに属する暴徒集団が、シリア政府軍に抵抗している。国連のデータによれば、内戦期間中に、22万人以上の人々が亡くなった。なおシリア国内では2月27日から、停戦体制が機能している。これについての合意は、ロシア及び米国仲介のもと、政府軍と在野勢力との間で結ばれた。ただ、国連安全保障理事会によりテログループと認定された「ダーイッシュ（I S、イスラム国）」などのグループは、休戦の対象とはならない。

<http://sptnkne.ws/bNvK>

やまゆり園の「安楽死」：日本流テロ、それとも国境を超えた怨恨？

(スプートニク 2016年07月29日 21:27)

◎ REUTERS/ Kyodo 1/2 <http://goo.gl/nJPWHO>

ここ数ヶ月、世界は不可解な残酷さで意識を揺さぶる無意味な虐殺による罪のない犠牲者の血液に溺れている。ニュースとドイツの悲劇の間にまだしもダーイシュ（I S）に準備された移民によるテロというつながりを見つめることができるとしても、誰がなぜフロリダのパーティーで未成年たちを銃殺したのか、そしてそれ以上に、なぜ急に静かな日本で植松聖容疑者がナイフをつかみ、「世界の平和」のために障害を持つ19人を殺害したのか、完全に不明のままである。

彼は誰だ？ 日本のサイコ？ 日本のブレイヴィク？ 日本のジハード主義者？ それとも、彼が日本人であることは全く意味を持たないか？

悲劇の日以降、日本のソーシャルネットワークおよびブログで、「ヒトラー」「ナチス」といった言葉が氾濫している。NHKによると、相模原市への取材で、植松容疑者が今年2月、精神科の病院に措置入院していた際、医師に対し「ヒトラーの思想が2週間前に降りてきた」と話していたことがわかった。しかし植松容疑者の「イデオロギープログラム」の中に最悪の理論との連続性を見つけることはそれらのコメントなしでも可能だ。悲劇の翌朝、人々は、Twitterで、同じ修辭的な質問を繰り返した。「お前はヒトラーか？」

[twitter.com/ https://twitter.com/maru_drow/status/758082933215236096](https://twitter.com/maru_drow/status/758082933215236096)

スプートニクの調査によると、回答者の25%は、植松容疑者はファシズムの思想の影響を受けて罪を犯した、と考えている。

twitter.com/ https://twitter.com/sputnik_jp/status/758567900995280896

しかし、まだ日本にファシズムは生きているのか？それとも日本人は第二次世界大戦の残虐行為のために罪悪感を抱え、あらゆるものにその邪悪な幽霊を見てしまうのか？

「ファシズムとはいかなる関係もない。日本には今日いかなる極右運動も存在しない。「完全でない」人たちとのいかなる闘争も、なおさらない。反対に、日本の社会システムは非常に発展しており、先進国の中でさえ最も効果的なものの一つである」とかつて駐日ロシア大使を務めたアレクサンドル・パノフ氏がスプートニクとのインタビューで語った。

直後に植松容疑者につけられた第二の標識は「ローンウルフテロ」。このブログにそう書いてある。米国務長官ジョン・ケリー氏さえ、哀悼の意を表す際、事件は「一種のテロだ」と述べた。スプートニクの調査で、回答者の29%は、植松容疑者の行動は独自のロジックを持っており、日本社会における問題への反応だったと考えている。しかし、植松容疑者の叫んだ要件は、プログラムとしては、テロ組織さえ含めても、どのような組織からも今日の日本において提唱される可能性があるかは疑わしいものである。

「私は絶対に彼の行動の中に既存のシステムに対する政治的な動機や社会的な抗議を探そうとは思わない。日本では、安楽死は、公的生活の主要な問題ではない。議会の議論や選挙演説でも提示されてはいない。植松容疑者のケースは、彼の問題をどういう形で制度化することを許す範囲の外にある」スプートニクとのインタビューでヴィクトル・パヴリャチェンコロシア科学アカデミー極東研究所日本研究センター主任学術研究員がコメントした。

つまり、植松容疑者はテロリストでも地下ナチス組織のメンバーでもない。しかし、それは、彼のケースが単発であり、再び起こらないことを意味するのだろうか？いや、違う。なぜなら、この恐ろしい常軌を逸した行為の唯一の本当の理由は、怨恨だったということだから。植松容疑者のように必ずしも健康ではない人や、ヨーロッパにおける中東からの移民のように必ずしもうまくいっていない人々は、それにかられる可能性がある。そして、彼らを感じている憎しみこそが、彼らを危険な思想の狂信者にしてしまう。「完全でない」ものとの戦いか、「異教徒」との戦いか。それは重要ではない。しかし、この憎しみの実現対象として、彼らは常に、最も脆弱な、最も無実の人々を選択する。障害者、休暇中の人々、子供などだ。やまゆり園の悲劇に対する一般日本人の最初の反応が次のようなものであったことも不思議ではない。「最初私は、どこか外国のことだと思った」。

twitter.com/ <https://twitter.com/Ylihaersilae/status/757810343254986752>

twitter.com/ <https://twitter.com/yuu7aozaki/status/757957129831526400>

<http://goo.gl/osYjEc>

ロシア柔道代表チーム監督 日本の井上監督の激励に感謝

(スポーツニク 2016年07月30日 05:37)

© Sputnik/ Алексей Куденко 1/2 <http://goo.gl/DiZhSn>

ロシア柔道代表チームは、ブラジルのリオデジャネイロで8月5日から21日まで開かれる第31回夏季五輪大会に、フルメンバーで出場することを許された。そうした判断を下したのは国際柔道連盟で、7月26日、連盟は、全選手が、国際機関によって決められたすべてのドーピング検査を正々堂々とパスしたとし「クリーン」なロシア選手を支持した。

柔道男子日本代表団の井上康生監督も「クリーンな状態で全選手がそろうのはうれしく思う」と述べ、ロシア柔道選手団を支持した。井上監督はまた「(主なライバルであるロシアが参加した)その上で日本が勝つことで、真価を見せられる」と指摘した。

五輪開催を目前に控え、スポーツニク日本のアンナ・オラロワ記者は、ロシア男子柔道代表チームのドミトリー・モロゾフ監督に意見を聞いた。

質問：国際柔道連盟そして柔道男子日本代表団の井上監督から、ロシアはリオ五輪参加について支持を得ましたが、この事はあなたにとって何を意味していますか？

答え (モロゾフ監督)：ロシアの柔道選手は常に、クリーンな闘士として戦ってきました。国際柔道連盟が、ロシアチームを支持したのも、決して偶然ではありません。また、ロシアチームを高く評価してくれたことに対し、井上監督にお礼を言いたいです。あのような栄光に輝く柔道選手であり監督である人物から、そうした言葉を聞けてうれしいです。

質問：2012年のロンドン夏季五輪で、ロシア男子柔道チームは、7階級のうち3階級で金メダル、銀と銅も全部で5つのメダルを獲得しました。しかし、ロンドン五輪でロシアに勝利をもたらした選手のうちでリオデジャネイロに行くのは、100キロ以下級のタギル・ハイブラエフ選手だけです。このように出場メンバーは変わりましたが、監督としてあなたは、チームは、リオ五輪でのさらなる勝利に向け準備ができているとお考えですか？

答え：ロシアチームは、メダルを狙う大部分のチームもそうであるように、選手が変わりました。競技のルールも、ライバルもまた変わりました。選手達にはメダルを手にする用意ができています。それが実際どんなメダルになるのか、それは大会での活躍を見てみましょう。

質問：ロシアの柔道選手達は、緊張した状況の中、どのようにトレーニングを積み、オリンピックに備えてきたのですか？ ロシアチームの持つ落ち着きは、どこにその秘密があるのでしょうか？

答え：もちろん私達は、外国のマスコミからのプレッシャーを感じています。快適とは言えません。信じる仕事、正直で偏見のないファンの支援、自分の正しさや無実に対する自信が、比較的平

静を維持する助けになっています。

質問：ロシアのプーチン大統領は、柔道マスターの称号を持っています。大統領は、これまでインタビューの中で何度も、東洋の武道が与えてくれる能力や技能を政治の中で用いていると述べています。大統領はしばしば、柔道チームの稽古場を訪れるのでしょうか？ ロシア選手応援のため、リオデジャネイロに大統領が行くことはあるのでしょうか？

答え：代表チームと大統領の合同稽古は、年に1、2回あります。大統領は柔道を愛し、よく理解しています。そればかりでなく大統領は、稽古や選手達との交流に常に前向きです。選手達は、大統領との稽古の後はずっと、本当の意味で充電されます。大統領がリオに行くかどうかについては、私達は今のところ分かりません。しかしたとえ来なくても、大統領はメダル争いをご覧になるでしょう。

ロシア柔道連盟がスポーツニク記者に伝えたところでは、ロシア代表チームの11人は皆、ポルトガルで調整中で、そこから5つのグループが順次ブラジルに向かう。なおオリンピックで柔道競技は、8月6日から12日まで行われる。

<http://sptnkne.ws/bNCu>

ロシア外務省が「アル・ヌスラ戦線」の新たなイメージ作りにコメント

(スポーツニク 2016年07月30日 07:55)

© AFP 2016/ Guillaume Briquet <http://goo.gl/JhRMdj>

アルカイダのシリア支部「アル・ヌスラ戦線」は新たなイメージ作りにかかわらずテロ組織だとロシア外務省が声明した。外務省の声明には次のように述べられている。

「テロリストがイメージを変えようとする全ての試みは無駄だと証明する必要はない。『アル・ヌスラ戦線』は、彼らが自らをどう名づけようと、今までもこれからも違法なテロ組織である。」

7月28日、アラブのテレビでテロ組織「アル・ヌスラ戦線」の指導者アブー・ムハンマド・アル＝ジャウラーニーの声明が放送された。

声明には、現時点から「アル・ヌスラ戦線」は「ジャブハト・ファタハ・アルシャム（シリア征服戦線）」と名称を改め、「アルカイダ」との「兄弟」関係は、いわく、断ち切ると述べられている。先に伝えられたところによると、ダーイシュ戦闘員らがシリアのマンビジ市から逃亡しようとするところを反対派軍に拘束された。

<http://sptnkne.ws/bNCC>

ロシアとトルコが2つの石油パイプライン「トルコストリーム」建設を討議

(スプートニク 2016年07月30日 09:55)

© Sputnik/ Alexey Kudenko <http://goo.gl/o8Myiu>

ロシアとトルコは2つの石油パイプライン「トルコストリーム」建設を話し合っているとロシアのアレクサンドル・ノヴァクエネルギー相が声明した。ロシアは14年12月「トルコストリーム」のため、ロシアから黒海海底を通りトルコにつながる石油パイプラインを建設する「サウスストリーム」計画を中止したが、「トルコストリーム」の政府間協定は調印されていなかった。この計画は15年11月にロシアとトルコの関係が複雑になってから凍結された。計画の再開はトルコ政府代表団が週の初めに行った訪問中に検討されていた。

<http://sptnkne.ws/bNCF>

韓国はTHAAD配備を再考する可能性あり

(スプートニク 2016年07月30日 19:27)

© 写真: U.S. Missile Defense Agency <http://goo.gl/IB87f0>

韓国は米国のミサイル防衛システムTHAADの配備計画に関連してロシアと中国が抱えている懸念をよく知っており、北朝鮮が核兵器を放棄した場合にはこの問題を再考する可能性がある。韓国外務省付属外交政策・国家安全保障研究所のシン・ドンイク所長が述べた。

「北朝鮮が核兵器を放棄し、朝鮮半島に真の脅威がなくなった場合、国土へのTHAAD配備を再考する可能性がある」。インターファクスのインタビューで述べた。

「我々は中国とロシアの懸念を十分に認識しており、ASEANフォーラムおよびG20サミットの枠組みの中で、すでに非常に頻繁に、国家元首や外相レベルで状況を議論しているし、我々は密接にこの問題を議論していく」とシン・ドンイク所長。

<http://sptnkne.ws/bNHr>

クリミア当局「ウクライナにダーイシュ（IS）の訓練キャンプがある」

(スプートニク 2016年07月31日 01:15)

© AP Photo/ Militant website <http://goo.gl/1Nbtd1>

クリミアに接するウクライナのヘルソン州にダーイシュ（IS）戦闘員を養成する訓練キャンプがある。クリミアのルスラン・バルバク副首相が述べた。「私たちはウクライナのヘルソン州にダ

ーイシュ戦闘員を養成する訓練キャンプがあることを知っている。ウクライナ側がアンチ・ロシアの行動を取ることと引き換えにイスラム過激派に対しヘルソン州で訓練行動に参加し平行権力構造を形成することを許していることが我々を強く懸念させている」。スプートニクがフランス議員らとの会談での副首相の言葉を伝えた。

過激派はキエフを恐喝するために原子力発電を使用する可能性もあり、それは「欧州とロシア共通のレベルでの安全保障問題になる」。前にテロ集団「ダーイシュ（IS、イスラム国）」はリオ五輪でテロを起こしたい単独テロ犯のために、1から10まで書かれている説明書を公開したと報じられた。

<http://sptnkne.ws/bNJ7>

フランスの政治家ら、クリミア訪問の真意を明かす

(アップデート 2016年07月31日 03:29)

◎ Sputnik/ Alexandr Polegenko 1/2 <http://goo.gl/MSny2R>

ウクライナ外務省の警告を無視して29日にクリミア入りしたフランス議員代表団は出発前に記者団に訪問の真意および半島合併にちなむアンチ・ロシア制裁をめぐるヒステリーについて語った。

「クリミアは何世紀にもわたってロシアの一部であり、制裁は状況を変えることができると考えるのは無意味だ。問題はすでに解決されている。住民投票が行われ、クリミアの人々は自分の意見を表明した。クリミアが何であるかに対して制裁を課す理由はない」とフランス国会外務委員会のメンバー、ジャック・ミイヤル氏。

「我々のクリミア訪問は二度目だ。主な目的は現地の現実を確認してこること。多くの人がクリミアの状況についてコメントしているが、彼らはそこに行ったことがない。常に自分自身の意見を持つことが大事だ。まず、半島の状況を見てみたい。そして第二に、ポクロンスカヤ検事や宗教当局といくつかの新しい会談をもち、住民たちを感じる予定だ」とフランス代表団長、ティエリー・マリアーニ氏。

<http://sptnkne.ws/bNKt>

エリート米軍基地から武器庫一杯の武器が逸失

(スプートニク 2016年07月31日 00:40)

◎ AP Photo/ Lee Jin-man <http://goo.gl/xUYELO>

ドイツのエリート米軍基地パンツァー・カゼルネで武器庫が丸ごと盗まれた。米軍の犯罪捜査部

門の代表は、シュトゥットガルトの基地で機関銃を含む銃器の武器庫が失われたと述べた。米軍のクリス・グレイ代表が述べた。「逸失した武器の中には半自動拳銃数丁、小口径の機関銃一丁、機関銃があった」とグレイ氏。

武器は見つかっていない。闇市場に流れた可能性もある。米軍調査部門職員ロイ・ジョンソン氏によると、捜査中のため、これ以上の詳細は明かせないという。前にトルコで起きた軍事クーデター未遂後、トルコの艦隊から14隻の軍艦が消えたと報じられた。

<http://sptnkne.ws/bNMf>

イスラム過激派グループ「タリバン」代表団 中国を訪問

(スプートニク 2016年07月30日 22:09)

© AFP 2016/ Noorullah Shirzada <http://goo.gl/zTcMMu>

イスラム過激派グループ「タリバン」の代表団が、中国当局の招待で北京を訪問し、アフガニスタン情勢について協議した。土曜日、ロイター通信が「タリバン」筋の情報を引用して伝えた。7月18日から22日まで中国政府の招きで北京を訪れた代表団の団長は、カタールにある「タリバン」政治局の責任者であるアッバス・スタナクザイ氏が務めた。

ロイター通信によれば、消息筋は、次のように伝えた—

「我々は、世界の様々な国々と良好な関係にある。中国も、その一つだ。『タリバン』は、アフガニスタンが外国の軍隊により占領されていることに関連し、中国当局が、我々に援助を与え、この問題を国際会議で取り上げてくれるよう望んでいる。」

中国は、アフガニスタン、米国、パキスタンとともにアフガン問題調停役グループに入っている。同グループは「タリバン」とアフガン中央政府との間の和平交渉プロセス再開に向け努力している。

<http://sptnkne.ws/bNMz>

アフガニスタン、子供によるテロを未然に防止

(スプートニク 2016年07月30日 23:48)

© AFP 2016/ Shah Marai <http://goo.gl/F111bc>

アフガニスタン治安部隊は12歳の少年によるテロを未然に防止した。国立安全保障総局の声明をもとにカーマ通信が伝えた。テロ組織アブドゥル・アジズの実行者に任命されたのは少年だった。テロはバドギス州の行政の中心地カライイ・ナウ市のスタジアムで予定されていた。アフガニスタ

ンとパキスタンで活動している「タリバン」および「ハッカニー・ネットワーク」のテロリストらはしばしばテロ活動に子供を引き込み、自爆テロの訓練も行っている。

<http://sptnkne.ws/bNNR>

フランス議員：クリミアがロシアに加わらなかった場合、ここが前線になっただろう

(スプートニク 2016年07月31日 08:00)

© Sputnik/ Alexandr Polegenko <http://goo.gl/iwvxs8>

フランス議員代表団長ティエリー・マリアーニ氏は、もしクリミアがロシアに加わらなかった場合はルガンスクとドネツクと並んで、ここが前線になっただろう、と述べた。

「私は2年前にあった一連の事象について語るすべての人に非常に注意深く接している。もしあの時クリミアがロシアに加われなかった場合は、ルガンスクとドネツクと並んで、ここが第3の前線になっただろうと思う。それは十分あり得たことだ」。地元立法当局との会合で述べた。

「重要なのは、住民投票が人々の意見を反映していることである」とマリアーニ氏。フランス議員代表団は金曜クリミアに到着。シンフェロポリ、ヤルタ、セヴァストープリを訪問する。

<http://sptnkne.ws/bNVv>

ウクライナ中央政府 ドンバス住民密告用の直接電話ラインを開設

(スプートニク 2016年07月31日 13:31)

© Fotolia/ Brian Jackson <http://goo.gl/T13Vsx>

ウクライナのユーリイ・ルツェンコ検事総長は、ドンバス地方（ウクライナ南部・東部）と首都をつなぐ密告用の直接電話ラインを開設すると伝えた。この電話を使って、ウクライナ検察当局は、捜査官らに、ドネツク及びルガンスク両共和国で行われた住民投票の組織に関わった人物や財政援助をした人達に関する情報を伝えることになる。

土曜日、ルツェンコ検事総長は、キエフでのブリーフィングで、次のように述べた—

「ウクライナ検察当局は、ウクライナ領内における分離主義的住民投票の組織やルガンスク及びドネツク人民共和国のテロ組織への資金援助に関する直接的な情報を持つウクライナ市民と連絡を取り合うため電話及びインターネットのホットラインを開設する。市民が、個人的に耳にした情報だけでなく、周囲で話されていたことでも価値がある。」

2014年4月初めの集会で、ウクライナのドネツク及びルガンスク両州の住民は、2月に首都キエフで起きた国家クーデターの合法性を認めず「人民共和国」を創設すると宣言した。そして翌5月に実施された住民投票の後、両共和国は、自らの主権を宣言し、自分達独自の権力機関を形成した。

<http://sptnkne.ws/bPmh>

エルドアン大統領 クーデター未遂を受け全ての士官学校閉鎖へ

(スプートニク 2016年07月31日 16:32)

© AFP 2016/ Adem Altan <http://goo.gl/uNz8k6>

トルコのエルドアン大統領は、同国で軍事クーデターの試みが発生したことを受け、全ての士官学校を閉鎖し、これらの学校を基盤に国防大学を創設すると発表した。

エルドアン大統領は30日、テレビ局A Haberの番組で、「士官学校は閉鎖される。これは数日以内にも官報Resmi Gazeteに発表される。これら(士官学校)は国防大学の屋根の下に統合される」と述べた。

7月16日にかけての深夜、トルコで軍事クーデターの試みがあった。主にアンカラとイスタンブールで衝突が起こった。最新情報によると、トルコ市民246人が死亡、2,000人以上が負傷した。なおこれに反乱勢力は含まれていない。反乱勢力は鎮圧された。

<http://sptnkne.ws/bNXm>

クリミアをロシアの一部として承認する問題を検討するのは仏議会の新メンバー

(スプートニク 2016年08月01日 06:46)

© Sputnik/ Alexandr Polegenko <http://goo.gl/XJ7J11>

フランスの国民議会で対ロシア制裁解除に関する決議を検討するよう提案したフランス議員代表団の団長ティエリー・マリアーニ氏は、クリミア承認の可能性についての議論へ移るのは、来年の春以降になる可能性があるとの見方を示した。

マリアーニ氏は、「クリミアをロシアの一部と承認する問題を議会に提案する可能性を検討しているか?」との質問に、「我々は現在、選挙期間前にある」と指摘し、「既存の(フランス)議会は2月にその活動を終了する。現時点ではそのような決定を行うのは技術的に不可能だ」と述べ、「8ヵ月後にはフランス、米国、その後ドイツで選挙が行われる。私は物事が変化する可能性があると考えている」と説明した。

マリアーニ氏は、「クリミアをロシアの構成体として認めること、あるいは制裁状況について話は出ているか？」との質問に、「両方だ」と指摘し、「全く別の政策を実施することは、フランスの新政府にとって正しい行動になるはずだと考えている」と語った。

またフランス議員代表団長ティエリー・マリアーニ氏はロシアとクリミアの合併を認めるよう西側に訴えた。「クリミアはロシアのものであり、もはや変更されない」セヴァストポリで日曜、海軍パレード後に記者らに述べた。「残念ながら外国メディアの見解は異なっている。彼らはクリミアに行ったことがない人たちだ」と同氏。

<http://sptnkne.ws/bNXX>

モルガン・スタンレーの専門家、間もなくドル暴落と予測

(スプートニク 2016年07月31日 18:02)

© Sputnik/ Natalia Seliverstova <http://goo.gl/6rJf3X>

米国経済の状況を見ると、今後数ヶ月でドルレートは5%低下する可能性がある。モルガン・スタンレーのハンス・レデカー主任研究員が述べた。国内指標をもとに、「我々は米国経済の当面の見通しについて悲観的だ」と同氏。特に指摘されたのはFRBに大幅な金融政策厳格化の意向がないこと。

27日には、米連邦準備制度理事会（FRB）は基準金利を0.25から0.5%の範囲内で維持した。投票で0.5から0.75%への上昇を主張したのはカンザス連邦準備銀行代表のエスター・ジョージ氏のみであった。

専門家によれば、FOMCの意見は分かれており、経済成長にプラスの刺激を与えるために、基準金利は年内に、しかも一度ならず引き上げられるべきだと言う人もいれば、それはリスク含みであると考える人もいる。

<http://sptnkne.ws/bNYT>

トルコ当局 死刑復活をめぐる国民投票実施の可能性

(スプートニク 2016年07月31日 18:31)

© AFP 2016/ Adem Altan <http://goo.gl/zpESLb>

トルコ当局は、死刑復活に関する国民投票を実施する可能性がある。トルコのチャブシオール外相が、独紙フランクフルター・アルゲマイネ・ツァイトウングのインタビューで明らかにした。

なお外相は、死刑制度復活に関する問題は非常に深刻なものであり、いずれにせよ「今の影響下」で行動するべきではないとの見方を示した。また外相は、死刑制度の復活はトルコ市民自らの要望だと主張し、もし死刑制度を復活させなければ有権者たちは与党に投票しないと脅していると述べた。また外相は、EUはこの問題でトルコに教え諭すべきではないと指摘した。

これは7月15日から16日にかけてトルコで発生したクーデターの試みへの参加者や首謀者たちの処罰に関するもの。先にEUはトルコが死刑制度を復活させればEU加盟交渉を停止すると伝えられた。

<http://sptnkne.ws/bNZG>

ペンタゴン：20年後、ロシアと中国が米国を上回る

(スプートニク 2016年07月31日 19:14)

© AFP 2016/ Tech. Sgt. Andy Dunaway <http://goo.gl/SoKQvm>

2035年までに米国はロシアと中国が経済的・軍事面で西側と同じまたは上回るだろう状況に陥るかもしれない。米国防総省の研究センターが発行した文書「一般作戦状況-2035 (JOE 2035年)」に記載されている。

「その影響が増加している国、例えば、中国、ロシア、インド、イラン、ブラジルは、ますます多く既存の国際システムにおける自らの位置、力と権威について不満を表明している」という。ロシアはその陸海空軍力を近代化していき、「予想外の核演習、爆撃機の飛行、米国の領土の上で行われる戦略的偵察飛行など」の行動をとるだろうとのこと。

西側の資源減少で世界における米国の優位性にかげりが出る中でロシア、中国、インドは代替的な同盟の条約に加入するだろう、と文書。

<http://sptnkne.ws/bNZY>

仏教会襲撃 イスラム教徒コミュニティは襲撃犯の埋葬を拒否

(スプートニク 2016年07月31日 20:09)

© AP Photo/ Pavel Golovkin <http://goo.gl/STPtms>

仏オート＝ノルマンディー地域圏・サン＝テティエンヌ＝デュ＝ルヴレのイスラム教徒のコミュニティは、教会を襲撃したアデル・ケルミシュ容疑者の埋葬を拒否した。30日、スカイニュースが報じた。

地元のイスラム文化協会の会長で、町のモスクの宗教指導者モハメド・カラビラ師は、「我々はこの人物によってイスラム教を冒瀆するつもりはない。我々は彼の遺体の埋葬準備には参加しない」と述べた。またカラビラ師は、テロリストの埋葬に参加する宗教指導者は一人もいないことを確認した。

なおカラビラ師は、市役所が彼らのモスクに遺体の受け入れを要請し、容疑者の家族が埋葬を望んでいると発表した場合、コミュニティは同問題を解決するための責任者を任命する義務があると述べた。なお容疑者の親族はまだそのような要望を表していない。「スプートニク」が報じた。

7月26日午前、刃物を持った2人組の男がフランス北部のカトリック教会に押し入り、86歳の司祭を殺害した。2人組は警察によって射殺された。

<http://sptnkne.ws/bPbg>

下院議長：ロシアは誰を脅かすこともないが「悪企み」に対しては稲妻のように応答する

(スプートニク 2016年07月31日 20:39)

◎ Sputnik/ Vladimir Fedorenko <http://goo.gl/eS8FE5>

ロシアは国際安全保障の強化のためにすべての国と協力する準備ができているが、同時に外部からの脅威に対して稲妻のように応答する準備ができている。ロシア議会下院議長セルゲイ・ナルイシキン氏が述べた。

「ロシアは誰を脅かすこともなく、欧州およびグローバルな安全保障の強化のためにすべての国と協力する準備ができている。しかし、もしいずれかの国または国家グループの政治家らに例の性格の悪しき、また発狂した企みが思い浮かび、それを実現する試みがとられたなら、ロシアの応答は公平、高速かつ決定的なものであろう」とナルイシキン氏。

<http://sptnkne.ws/bPbR>

WP：米国はハッカー攻撃のために潜水艦を使用している

(スプートニク 2016年07月31日 22:17)

◎ Sputnik/ Oleg Lastochkin <http://goo.gl/aGbflA>

米ワシントン・ポスト紙(WP)は、米国が潜水艦を使って外国に対してハッカー攻撃を行っていると報じた。WPは、「潜水艦は米国のサイバー戦略の重要な構成要素である。潜水艦はサイバー攻撃から自分自身と国を守っており、さらに興味深いのは、潜水艦がサイバー攻撃の実施で重要な役割を担っていることだ。これについて最近ワシントンで開かれた会議で米海軍の代表者2名が

述べた」と伝えた。

米国の潜水艦隊は敵に対する競争上の優位性を得るためにずいぶん前から情報技術を使用している。潜水艦は 1970 年代からソ連の海底ケーブルに接続し、情報を傍受するために使用されていた。WPによると、現在米国の潜水艦には特に保護が不十分だったり暗号化されていないネットワークのデータを傍受、変更するために使用できるアンテナが装備されている。米国は今後、潜水艦を水中無人機用の基地にする意向だという。水中無人機は外国の岸へさらに近づき、ネットワーク障害を起こしたり、ネットワークに侵入することができる。なお潜水艦は今のところはまだ距離を置いて活動を続ける見込みだという。ワシントン・ポスト紙が報じた。

<http://sptnkne.ws/bPcX>

チェコ大統領、EU における新たなテロを予測

(スプートニク 2016 年 08 月 01 日 09:01)

© AP Photo/ Petr David Josek <http://goo.gl/LIH5va>

チェコのカミシシュ・ゼーマン大統領は、ヨーロッパには 1 万 5,000 人のイスラム・テロリストがいる、と見ている。新聞「プレスク」のインタビューで大統領は、不法移民の大幅な抑制を呼びかけた。ゼーマン氏は、EU における新たなテロは不可避である、と確信している。テロ防止の信頼性の高い手段は、欧州におけるすべての亡命認定なき難民を追放し、過激派への財政支援を止め、過激派説教者を強制送還することだという。大統領によると、チェコはプラハ城、地下鉄、鉄道駅のセキュリティシステムに 440 万ドルを費やしている。

ゼーマン氏はシェンゲン加盟国の国境におけるコントロールを強化することが必要と考えている。また、シェンゲンエリア内の境界チェックの再開をも排除しないという。ゼーマン氏はキリスト教のヨーロッパで多文化社会を構築することは無意味であると考えており、イスラム教徒の難民を歓迎する政策をとるドイツのメルケル首相を批判した。

<http://sptnkne.ws/bPma>

イスラム過激派組織 半年で 50 人の子供を自爆テロリストに

(スプートニク 2016 年 08 月 01 日 12:10)

© Sputnik/ Valeriy Melnikov <http://goo.gl/EVTFB2>

「イスラム過激派テログループ『ボコハラム』の戦闘員らは、この半年の間に、50 人もの子供達を自爆テロ犯に変えてしまった」—スティーブン・オブライエン人道問題担当国連事務次長は、このように指摘した。BBCニュースが報じた。事務次長によれば「この間、テログループに操られた

子供達は、アフリカの4つの国でテロ攻撃を行った」。

オブライエン事務次長は、ナイジェリア領内で人間の所業とは思えない想像を絶する暴力行為を展開していると「ボコハラム」を強く非難し、次のように続けた—

「彼らの活動により、280万人が住む家を追われ、この地域の900万人が人道援助を必要としている。以前彼らのコントロール下にあったボルノ州では、25万もの子供達が飢餓状態にある。ボコハラム」は、2002年に結成されたイスラム過激派テロ集団で、2015年3月初めに、組織の頭目アブバカル・シェカウと彼の戦闘員らは、テログループ「ダーイシュ（IS、イスラム国）」に忠誠を誓っている。

<http://sptnkne.ws/bPmr>

トルコ、EUとのビザなし制度導入を要求

(スプートニク 2016年08月01日 20:08)

◎ AP Photo/ Burhan Ozbilici <http://goo.gl/2SCuvd>

EU首脳が今後数ヶ月でトルコ市民向けビザなし制度を導入しない場合は、アンカラは、移民危機対策条約から撤退する。メヴリュト・チャウシヨグル外務大臣の言葉をロイターが報じた。「ビザの自由化がなされない場合、我々は3月18日の難民の帰還に関する合意の履行を放棄することを余儀なくされるであろう」と外相。

この決定は10月初頭または中旬になされるという。合わせて、トルコ側は最終的な日限を通知するよう求める、と外相。先に伝えられたところによると、トルコ当局は、死刑復活に関する国民投票を実施する可能性がある。

<http://sptnkne.ws/bPpV>

ロシア、エジプト初の原発建設

(スプートニク 2016年08月01日 20:15)

◎ Sputnik/Host photo agency/Sergey Mamontov <http://goo.gl/RCHxZ3>

エジプトとロシアはエジプト国内初の原発建設計画に関する商業契約の全ての項目で合意した。エジプト大統領報道官が声明した。エジプト大統領報道官は、契約調印の日付はエジプト国務院による契約の批准後すぐに決定されると述べている。契約調印は今年中になると考えられている。

ロシアとエジプトは15年11月19日、地中海沿岸のエジプト北部ダバアでの原発建設の協力に関

する政府間合意に調印した。原発は4基の原子炉からなり、各原子炉の出力は1200メガワット。ロシアの提案は、ハイテクプロジェクトの実施を含め、全体の原子力産業のエジプトでの設立の支援を提供するというものだ。

<http://sptnkne.ws/bPqK>

IOC、突然ロシア選手の五輪出場を複雑に

(スプートニク 2016年08月01日 17:21)

© AFP 2016/ Fabrice Coffrini <http://goo.gl/j5CcUc>

今までロシア代表選手の運命を決めていたのは国際連盟や仲裁だが、今それらの決定を承認するのはIOC実行委員会の「3頭」だ。決めるのはIOC医事委員会長のウグル・エルデネル氏、選手委員会委員長クラウディア・ボケル氏、IOC元会長の息子でIOC委員会のメンバーであるファン・アントニオ・サマランチ氏の3人だ。彼らは国際スポーツ連盟が承認したロシア代表1人1人を検討し、それから決定を下す。日曜日深夜、IOCのマーク・アダムス広報部長がロイターに報じた。

アダムス広報部長は、3人はスポーツ仲裁裁判所の判決を考慮して決定すると強調した。ちなみに、ロシアの陸上選手はすでに仲裁裁判所で、女子走り幅跳びのダリヤ・クリシナ除く全てのロシア陸上選手の出場資格を剥奪した国際陸上競技連盟に申し立てを行ったが、申し立ては聞き入れられなかった。先に伝えられたところによると、国際重量挙げ連盟は金曜夜、先に参加が認められており最後の瞬間まで参加への望みをつないでいたロシア選手らをリオ五輪から完全排除することを決めた。

<http://sptnkne.ws/bPq6>

露日ビジネス 東方経済フォーラムの目玉

(スプートニク 2016年08月01日 21:51)

© Sputnik/ Yevgeniy Biyatov <http://goo.gl/6Z8p7q>

ロシア極東ウラジオストクで9月2、3日両日に開かれる東方経済フォーラムは今年、「ロシア・日本ビジネスフォーラム」となる。また東方経済フォーラムのプログラムでは、中国、韓国、ASEAN諸国とのビジネス・対話も予定されている。ロシア極東開発省・投資プロジェクト推進局のアレクサンドル・クルチコフ局長が「スプートニク」に語ったところによると、露日フォーラムではまず安倍首相が今年5月にソチで行われたプーチン大統領との会談で提示したロシアと日本の「8項目からなる経済協力プラン」の実現について協議される。なお次回の露日首脳会談は、東方経済フォーラムの枠内においてウラジオストクで行われる予定。クルチコフ局長は、次のように語

っているー

クルチコフ氏：「日本側が提案する8項目からなる経済協力の一つは、極東開発、日本企業や日本の投資家が参加する極東での輸出志向型産業の発展をテーマとしています。今日すでに極東には、近いうちにも安定して発展する見込みのあるこのような協力の成功例があります。現時点で我々には小さな協力の例が2つあります。それは先行発展地域（TOR）「ハバロフスク」のJGCエバーグリーン社と、ヤクート・サハ共和国のTOR「カンガラシ」に建てられた大型温室施設「サユリ」です。私たちは、我々の支援策が投資にどのような影響を与えているのかを注視しており、この2つのプロジェクトを例に投資リスクを軽減し、投資収益を高めることのできるTORの労働能力と競争力を示したいと思っています。私たちはこれを投資家たちがTORに見出す最も価値のあるものだと考えています。私たちは現在、日本のロシアNIS貿易会（ROTOBO）とフォーラムの議題を協議しています。」

スプートニク：安倍首相とプーチン大統領の会談後、日本側とのコンタクトの活発化が感じられましたか？

クルチコフ氏：「まさにその通りです。私たちは今、ロシアやロシアの極東に対する日本企業の関心が全く別のレベルになったのを感じています。最近1か月半だけでも私たちは日本企業、投資家、経済メディアと少なくとも5回は会談しました。私はまさにこれはソチで両国の首脳会談が行われた結果だと思っています。この関心がフィクションではないということが非常に重要です。これは実用的な関心であり、企業は大きな政治ではなく、具体的なプロジェクト、ロシアへの投資経済について知ることを望んでいます。」

クルチコフ氏は、日本企業にとって極東で最も興味深いのは農業分野、水産加工合弁会社の設立、エネルギー分野かもしれないとの見方を示し、次のように語っているー

クルチコフ氏：「我々は現時点で他のアジア太平洋諸国と比較して十分に安価なエネルギーを提供することができます。これがインフラ整備への共同投資にとって重要な基盤となっているのは明確です。特に日本へのエネルギーブリッジプロジェクトと、その後のエネルギーリングへの発展です。同プロジェクトは日本の同僚たちの大きな関心と呼んでおり、私たちは第2回東方経済フォーラムでこれについても協議します。」

アジア太平洋地域諸国の電力システムを超高圧送電線で結ぶというプロジェクトと、ロシア・日本・韓国・北朝鮮のアジアエネルギーリング構想の実現については、2016年6月にサンクトペテルブルグで開かれた経済フォーラムの枠内で話し合われた。同プロジェクトは、サハリンから北海道への電力供給の可能性に関するもので、これにより日本のエネルギー安全保障を向上させることができる。

<http://sptnkne.ws/bPuk>

ロシア国防省、シリアで Mi-8 ヘリ撃墜を確認

(スプートニク 2016年08月01日 20:24)

© Sputnik/ Vladimir Astapkovich <http://goo.gl/J77acq>

ロシア宇宙航空軍のヘリコプターMi-8が8月1日、シリアのイドリブ県で撃墜された。ロシア国防省が報じた。乗組員3人と和解のためのロシアセンターの2人の将官の生死は調査中だ。前にシリアの戦闘員がイドリブ県で撃墜されたヘリコプターをネットに公開した。事故についてロイターがシリア人権オブザーバーを引用して報じた。

公開された映像ではパイロットが落ちるシーンが移ったが、反政府系テレビ局は、落ちたパイロットは生きていて、人質にとられていると報じた。残骸の中には機上防御複合体「ヴィテブスク」が同様のものが見える。イドリブ県では反政府側武装勢力と政府軍の戦いが起こっている。ロシア空軍は政府軍に協力している。先に伝えられたところによると、ロシアのシリア駐留軍は、新司令官が任命された。

<http://sptnkne.ws/bPu5>

ロシアはダーイシュの脅迫に関わらずテロとの戦いを続ける

(スプートニク 2016年08月01日 22:57)

Photo host agency <http://goo.gl/BPsfpw>

ロシア政府はテロ組織「ダーイシュ（イスラム国、IS）」が脅迫つきで公開したものに必要な注意を払っており、その脅迫は特殊部隊に考慮されている。しかし、ダーイシュの脅しはロシアのテロとの戦いに関する政策に影響しないとロシアのドミトリイ・ペスコフ大統領補佐官は声明し、次のように述べた。

「言うまでもなく、このような公表は反テロ作業と安全保障を担当する特殊部隊によって考慮されている。しかし同時に、このような脅迫はテロ、国際テロとの戦いに関するロシアの一貫した政策、プーチン大統領の政策にいくらかも影響を与えることはできず、言うまでもなく、これら政策は全方向で続けられていく。」

前に、ダーイシュはロシアへのジハード（聖戦）を呼びかけた9分間の動画を公開した。ユーチューブに公開された動画には戦闘員のトレーニング、特にロシアへの脅迫とプーチン大統領の殺害予告、聖戦への呼びかけが収められていた。

<http://sptnkne.ws/bPzH>

ミサイルをめぐる攻防：中国の明確な反対は中韓関係の構図を変えるか

(スプートニク 2016年08月02日 01:40)

© REUTERS/ Kim Kyung-Hoon <http://goo.gl/uLddS6>

先月13日、韓国国防省は、米国の地上配備型迎撃システム「高高度防衛ミサイル（THAAD）」を南部の慶尚北道星州に配備することを公式に発表し、来年末までの運用開始を目指していることを明らかにした。これに対して中国は強く反対の意を示している。先月24日にラオスの首都ビエンチャンで行われた東南アジア諸国連合（ASEAN）で中国の王毅外相は、韓国の尹炳世外相に対し「両国の信頼関係に害を及ぼす」と真っ向から反対したほどだ。中国外交に詳しい防衛研究所の飯田将史氏（地域研究部・北東アジア研究室主任研究官）は、中国の、韓国に対する安全保障上の立場は厳しいものによっていくという見方を示している。

飯田氏：「今回の件で非常に特徴的なのは、中国が韓国に対してかなり強い圧力をかけて、配備を防止するために努力し、かつ韓国政府が配備を決めた後も、それを撤回するように迫っているという点です。このような中国の明確な反対は、『韓国の体制に関する干渉ではないか』という韓国国内の反発を呼び起こす可能性があると思います。中国としては、東アジアにおける米国の軍事的プレゼンスを少しでも弱めたいと思っていたところ、THAAD配備によって米韓の防衛協力が更に進むことになるわけですから、これを防ぎたいと考えています。」

韓国国内には、THAADの配備に対する支持と懸念が共存しているという。

飯田氏：「中国の報道を見ると、THAADの配備に対して韓国内で非常に強い反対が起きているかのような報道になっていますが、基本的に韓国内では、米韓同盟の重要性というものへの共通理解が広がっており、THAADの配備が同盟の強化になる、ということに対しての支持がかなりあると思います。配備反対派は、これが中韓関係の悪化につながるのではないかと懸念しています。また、北朝鮮問題を念頭に置くと、『北朝鮮に対する、韓国の利益に配慮した中国の影響力の行使』が難しくなるのではないかと、という懸念もあります。これらのことが、韓国内の反対派の背景にあるのだと思います。」

一方、日本の立場はどうか。安倍首相は先月15日にモンゴルを訪問し、韓国の朴槿恵大統領と会話した中で、THAADの韓国配備を支持する考えを示した。

飯田氏：「THAAD配備の波及的な効果として、日韓間の防衛協力をプラスの効果を与える可能性はあると思います。ミサイル防衛システムというのは非常に大きなシステムで、米国と韓国だけで完結するものではありません。日本の立場から北東アジアの安定を考えれば、『北朝鮮による挑発的な行動をいかに抑止していくか』が重要な課題です。中国は今回のTHAAD配備が朝鮮半島の緊張を高めることにつながる、として批判していますが、私はそれは逆だと思います。北朝鮮による、在韓米軍へのミサイル攻撃を抑止することにつながる、という観点で見れば、今回のTHAAD配備は北朝鮮に対する抑止力の強化に成り得るだろうと思います。」

安全保障面では米国、経済面では中国を重視し巧みにバランスをとっていたように見られた韓国だが、THAAD配備の決定は、中韓の蜜月関係にいったんピリオドを打ったようだ。

<http://sptnkne.ws/bPDF>

ロシア原油の平均価格、3分の2に暴落

(スプートニク 2016年08月02日 09:02)

◎ REUTERS/ Nerijus Adomaitis/File Photo <http://goo.gl/nHLPJ>

1月から7月のロシアのウラル原油の平均価格は3分の2に暴落し、1バレル=38.68ドルとなった。ロシア財務省が報じた。15年同時期の平均価格は1バレル=56.76ドルだった。15年7月のウラル原油平均価格で1バレル=43.58ドルとなり、6月の1バレル=55.51ドルより0.78倍低くなった。前に伝えられたところによると、ロシアで実施された社会調査によると、原油価格の揺れを気にしているロシア人はたった3割だけだという。

<http://sptnkne.ws/bPDQ>

シリアで撃墜されたロシアのヘリの飛行士らは最後の瞬間まで地上の人々を救おうとした

(スプートニク 2016年08月02日 12:15)

◎ Flickr/ Jonathan Mallard <http://goo.gl/Hif8jQ>

1日シリアのイドリブ州で撃墜されたMi-8ヘリの乗員は死亡した。大統領府のペスコフ報道官が述べた。R B K特派員が伝えた。「シリアから入った悲劇のニュースはご存知のことと思う。地上からの攻撃でヘリが撃墜された。我々の知る限り、搭乗していた全員が英雄的に死亡した。地上の被害を最小にするためヘリをそらそうと努めたのだ」。クレムリンは遺族らへの「深い哀悼」を表す、とペスコフ報道官。

<http://sptnkne.ws/bPEq>

フランス議員、ウクライナ記者のクリミアについての質問を卑劣だと呼ぶ

(スプートニク 2016年08月02日 14:19)

◎ Sputnik/ Alexandr Polegenko <http://goo.gl/fQd218>

フランス政府代表団のティエリー・マリアーニ代表は、ウクライナ記者のクリミアについての質問に激しいトーンで答えた。マスメディアが報じた。ウクライナのマスメディア代表が自らの質問

で、いわくマリアーニ氏がロシアに「買収」されたと示唆した。

マリアーニ氏は次のような興味を抱き、たずね返した。「このような質問をするために、あなたにはいくら支払われているのか?」。また、マリアーニ氏は次のようにも述べた。「あなたがここ、ロシアでそのような卑劣な質問ができるというその事実が、ロシアは自由な国であるということをお話している」。また、マリアーニ氏は、今は「より一層の決意を持ってクリミアを訪れる」と発言し、問題のウクライナ記者に「完全な軽蔑」をあらわした。

ティエリー・マリアーニ氏率いるフランス政府代表団はクリミアに 29 日から 31 日まで訪れた。訪問のまとめの記者会見でマリアーニ氏は、クリミアをロシアの一部として認める必要性を発言した。

<http://sptnkne.ws/bQfg>

小池百合子氏は自らが所属する政党に挑戦状を突きつけた

(スポーツニク 2016 年 08 月 02 日 14:30 リュドミラ・サーキャン)

© AFP 2016/ Toru Yamanaka <http://goo.gl/AXKpfH>

元防衛大臣の小池百合子氏が、世界最大のメガポリスの一つである東京都の知事に当選した。初の女性都知事が誕生する。小池氏は約 291 万 2,000 票を得た。なお東京都知事選には 20 人以上が立候補していた。2011 年から 4 回目となった今回の都知事選は、事実上 3 候補の争いとなった。小池氏と東京都知事の座をめぐって戦ったのは、与党自民党などが推薦した元総務大臣の増田寛也と、唯一の左翼候補者となったジャーナリストで社会活動家の鳥越俊太郎氏。なお舛添要一前都知事は、政治資金の公私混同疑惑で辞職した。

小池氏の人気は、同氏によって約束された「クリーンな」政治の新時代であるのは明らかだ。また小池氏の公約の一つには、教育や保育所システム開発が掲げられている。全面的な支援による日本人女性のポテンシャル活用は、すでにずいぶん前から小池氏のホームページのマニフェストに記されている。そして有権者たちは、このような女性の問題には男性よりも女性の方が上手く対処できると考えている。また新都知事は、2020 年東京五輪の準備も行わなければならない。そのため小池氏の最初の仕事の一つは、リオデジャネイロ五輪を訪れて、次の夏季五輪開催地となる東京を紹介することになるのは明白だ。東京五輪は日本経済復興の重要なファクターであると考えられている。日本は世界第 3 位の経済大国だが、すでに 10 年以上も不況に陥っている。

複数のメディアは、小池氏の東京都知事当選は政治における女性優位時代のトレンドと上手く融合しており、女性役員・管理職の増加を呼びかける安倍首相のスローガンとも一致していると報じた。ロシア科学アカデミー極東研究所日本研究センターのワレリー・キスタノフ所長は、「スポーツニク」のインタビューで、小池氏は自らが所属する与党に挑戦状を突きつけたと指摘し、次のように語っている—

「自民党は別の候補者を支持していた。小池氏の勝利は象徴的だ。なぜならこの勝利は、有権者たちの意見の急変を反映しているからだ。有権者たちは、過去の東京都知事たちに失望した。ご存知のように過去2人の東京都知事は、政治資金スキャンダルで辞職した。これは重要だ。またその他にも多くの社会的な問題が何年も解決されておらず、予算配分は公共の利益においても必ずしも明確ではなかった。この点において有権者は小池氏の汚職『浄化』に大きな期待をかけている。しかし、自民党は小池氏を支持するのだろうか？東京は政治的、財政的、経済的生活の中心地であり、問題が絡み合う場所でもある。国の政策は政府が決定しているが、知事の政策は非常に大きな重みを持つ。小池氏は政界の新人ではない。同氏は衆参両院の議員を務め、防衛大臣を含む閣僚に就任した経験を有する。そして今、小池氏は知事として自分のビジョンの実現を試みることになる。小池氏はロシアに対して十分に厳しい立場をとっており、完全に日米同盟を支持している。もし小池氏が憲法改正の方針を支持したとしても驚くことではない。」

新都知事に喜んでいない日本のブロガーたちも、この種の危惧を表している。なお小池氏自身は、「結果の重み」を感じながら都知事として邁進する意向を表明した。なお小池氏は、ロールモデルに米大統領候補のヒラリー・クリントン氏を一度ならず挙げている。

<http://sptnkne.ws/bPF4>

日本 シリアの子供達へのワクチン接種キャンペーン支援へ 30万ドル拠出

(スプートニク 2016年08月02日 17:29)

© Sputnik/ Igor Zarembo <http://goo.gl/uDD0wP>

日本政府は、シリアの多くの子供達にワクチンを接種するため、援助金として30万ドルを拠出する。火曜日、日本外務省が伝えた。援助金は、国連児童基金（ユニセフ）と世界保健機関（WHO）を通じて送られる予定だ。日本外務省の声明の中では「これらの緊急援助は、予防接種の計画及び組織、ワクチンの購入と住民への説明を含めた、シリアでの大規模なワクチン接種キャンペーン支援のためのものである」と述べられている。

<http://sptnkne.ws/bPEB>

ロシア大統領報道官 米民主党にロシアがハッカー攻撃したとの噂にコメント

(スプートニク 2016年08月02日 19:46)

© Sputnik/ Sergey Guneev <http://goo.gl/qHaNIJ>

ロシアのドミトリイ・ペスコフ大統領報道官は、米民主党全国委員会のコンピューター・ネット

ワークに対するハッカー攻撃にロシアが関与していたとする情報について、具体性がないとコメントした。ペスコフ報道官は「クリントン候補のそうした発言は、選挙キャンペーンの一環であり、何ら具体的内容のないものだ」と述べ、次のように指摘した—

「ロシアのハッカー宛の疑いは、ロシア指導部あるいはロシア政府に対する非難を意味しない。」

先に伝えられたところによると、ウィキリークスは、米民主党のサーバーから音声記録を公開した。

<http://sptnkne.ws/bPGA>

ドイツ 移民によってEUを脅すのを止めるよう求める

(スプートニク 2016年08月02日 19:41)

© AP Photo/ Michael Sohn <http://goo.gl/hdiVJF>

ドイツは、EUとのビザ体制簡素化のため、移民のため国境を開くとの警告によってEUを脅すのを止めるよう求めた。ドイツのガブリエル副首相が、しかるべき声明を発表し、伝えた。

その中では次のように述べられている—

「ビザ制度が自由化されるかどうかは、完全にトルコ次第だ。ドイツとEUを、いかなる状況であっても、恐喝のターゲットとすべきではない。」

ガブリエル副首相の発言は、最近なされたトルコのチャプシオール外相の声明に答えるものだ。同外相は「トルコ人がEUに渡航する際のビザ免除措置が10月までに導入されなければ、EUとの難民流入抑制に関する合意を破棄する」と警告した。

<http://sptnkne.ws/bPHj>

日本を脅かすのは誰か：中国、北朝鮮、またはロシア？「白書」が答える

(スプートニク 2016年08月02日 20:27)

© AP Photo/ Eugene Hoshiko <http://goo.gl/2nd3hz>

日本の防衛省によって発表された2016年の白書は、北朝鮮、中国、ロシアなどの国が日本にどの程度の危険をもたらすかについて明らかにしている。北朝鮮については、まず、新しいタイプのミサイルKN-08を誇示する弾道ミサイルのテストを行い、第二に、防衛省が射程6,000~10,000キロと評価するミサイル「テポドン2号」で人工衛星が打ち上げられた。このことから、地域における

軍事的挑発の成長と深刻度は増していく、という可能性は残るとされた。

中国に関しては、その軍事費の大幅な増加（年5%以上）が懸念されている。中国との係争を抱える尖閣諸島付近の日本領海に近い海域に中国のフリゲート艦が進入したこと、南シナ海の人工島における滑走路、港湾、レーダー基地建設に深刻な懸念が表わされている。中国の軍用機の日本領空への接近にともない、自衛隊の戦闘機のスクランブル発進も急激に増加しているという。

ロシアは主要な脅威と見なせる諸国として明示されていない。ロシアは 困難な経済状況にもかかわらず軍の近代化を強化し続けている、と記されている。新たな経済的、文明的、軍事的力を背景に、ロシアは影響力ある大国になるべく努めている、とのこと。シリアにおけるロシアの作戦については別に言及がある。遠隔地における戦力の迅速な展開と限られた時間内での任務実行は軍改革の成果とみなすことができる、と防衛白書に書かれている。

<http://sptnkne.ws/bPJU>

なぜロシアが五輪参加を許されたのか、I O C会長が説明

(スポーツニク 2016年08月02日 18:36)

◦ AFP 2016/ Fabrice Coffrini <http://goo.gl/7ONGEW>

リオ五輪にロシア選手を出場させるという決定を行った際には、国際オリンピック委員会は、政治と独立した公正の原則に基づいて行動した。I O Cのトーマス・バッハ会長がブラジルにおける委員会の第129会議の開会にあたって述べた。

「容疑の深刻さのため、ロシア選手に対しては推定無罪を適用することはできなかった。一方で我々は、無実を証明するチャンスという人権を選手たちから奪うこともできない。自分と無関係な政府の過ちのために人を罰することはできない。法律違反に別の違反で応答する者は公正の原則を破壊する」と会長。先に伝えられたところによると、ロシア柔道代表チームは、ブラジルのリオデジャネイロで開かれる五輪大会に、フルメンバーで出場することを許された。

<http://sptnkne.ws/bPKy>

米空軍偵察機3機、ロシア国境に接近

(スポーツニク 2016年08月02日 18:58)

◦ AP Photo/ Koji Ueda <http://goo.gl/pVdUyX>

米国の戦略偵察機 RC-1353 機が月曜、バルト海と極東のロシア国境に相次いで接近した。軍用機の動きを追跡している西側サイトより。英国の空軍基地「ミルデンホール」から出発したテール番

号 64-14844 および 64-14849、コールサイン ABYSS91 および FAZI099 の偵察機がバルト諸国とカリニングラード州の境界線に接近。別の米空軍偵察機、テール番号 64-14845 がチュクチ地方のアナディリに近づいた。最近、米国はバルト地域と極東ロシアの国境に沿った偵察飛行の数を大幅に増加させている。

<http://sptnkne.ws/bPKN>

トランプ氏：クリミア奪還の試みは第三次世界大戦を引き起こす

(スプートニク 2016年08月02日 20:36)

© AFP 2016/ Jim Watson <http://goo.gl/kNDVez>

米共和党の大統領候補トランプ氏は、オハイオ州での集会で支持者に対し「クリミアをウクライナに戻そうと、米国が武力でこの半島をロシアから奪還しようとするれば、第三次世界大戦の原因になる可能性がある」と述べた。Politico が報じた。

オハイオ州の有権者を前に、トランプ候補は、次のように演説した—

「あれは2年前のことだった。つまり、あなた方はそこに戻り、クリミアを取り返すために、第三次世界大戦を始めたいのか？ あれはすべて、オバマ氏の目の前で起きた事だった。」

このように指摘したトランプ候補は、さらに、テログループ「ダーイシュ（IS、イスラム国）」との戦いにおけるロシアとの同盟を主張し「できるならNATO加盟国も含め他の国々も、それに加わるべきだ」と述べた。

<http://sptnkne.ws/bPMs>

米国 新しい改良型核爆弾の製造開始

(スプートニク 2016年08月02日 21:47)

◎ 写真: maxpark.com <http://goo.gl/7eqTrS>

米国家核安全保障局（NNSA）は、新しい改良型核爆弾B61-12 製造に向けた準備開始を承認した。NNSAのサイト上で発表された。

B61 は、米国の基本的な熱核戦略兵器、つまり核爆弾である。爆弾には12の種類があり、戦略攻撃用にも、また航空機による戦術用にも作られている。B61-12 は、米国空軍に現在装備されているタイプ3、4、7及び10の核爆弾にとって代わると見られる。

プログラムの設計段階の作業は、4年前に開始された。シリーズ生産（量産）の開始は、2020年の予定で、また同年から米国は、欧州の基地への新型核爆弾B61-12の配備を計画している。先に伝えられたところによると、米国はハッカー攻撃のために潜水艦を使用している。

<http://sptnkne.ws/bPMS>

クレムリン、Mi-8 墜落地周辺におけるガス攻撃の報告を否定

(スプートニク 2016年08月02日 22:52)

◎ Sputnik/ Kirill Kallinikov 1/2 <http://goo.gl/HZDgNN>

ロシア大統領府のドミトリー・ペスコフ報道官は、シリアのイドリブ州で撃墜されたロシアのMi-8ヘリコプターの近くにおける有毒ガス散布に関する報告を否定した。「作戦が行なわれているという情報は入っていない。このような報告には反応しにくい。出典も根拠も不明だからだ」。報道官が記者らとの懇談の中で述べた。先にシリアの組織シリア市民防衛は、撃墜されたMi-8の近くに正体不明のヘリコプターが来て有毒ガス入りの容器を複数落とし、30人ほどが被害に遭ったと発表した。

<http://sptnkne.ws/bQfx>

スイス EU加盟申請取り下げを正式に通告

(スプートニク 2016年08月03日 01:06)

◎ AP Photo/ Virginia Mayo <http://goo.gl/JUxP2X>

スイスは、EU当局に対し、1992年に出した加盟申請を取り下げると正式に通告した。スイス外務ディディエ・ブルカルテール外相が伝えた。外相は、この措置は、連邦議会が申請取り下げを決めたことによるものだと説明した。ブルカルテール外相はまた「スイス政府には、EUとの二国間合意の道を発展させ、それを続ける強い意思がある」とし注意を促した。加盟申請取り下げを連邦評議会が可決したのは、6月15日のことだった。スイス議会上院は、今年3月に下院が草した同様の決定を支持した。

スイスは、EU全体に対し、高福祉は必ずしもEU加盟国とは結び付かないことを示した。連邦統計局のデータによれば、スイス住民の平均賃金のレベルは、ドイツやフランスより1.3倍高く、イタリアの1.7倍にあたっている。

<http://sptnkne.ws/bQaQ>

シリア テロリストが化学兵器でアレッポを攻撃

(スプートニク 2016年08月03日 07:11)

© AFP 2016/ MOHAMMED AL-KHATIEB <http://goo.gl/S8Ijch>

テロリストが、シリアのアレッポの住民居住区を攻撃した際、化学物質を含んだ砲弾を使用、5人の市民が死亡した。アレッポ蜂起勢力の情報としてスプートニク通信が伝えた。先にシリアの組織シリア市民防衛は、ロシア大統領府のドミトリー・ペスコフ報道官は、シリアのイドリブ州で墜されたロシアのMi-8ヘリコプターの近くにおける有毒ガス散布に関する報告を否定した。

<http://sptnkne.ws/bQat>

リビアのベンガジで自爆テロ、少なくとも22人が死亡、20人が負傷

(スプートニク 2016年08月03日 07:10)

© AP Photo/ Manu Brabo <http://goo.gl/r6kjek>

リビアのベンガジで自爆テロがあり、少なくとも22人が死亡、20人が負傷した。ロイターが報じた。今のところ犯行声明は出されていない。先にシリアの組織シリア市民防衛は、テロリストが、シリアのアレッポの住民居住区を攻撃した際、化学物質を含んだ砲弾を使用、5人の市民が死亡した。

<http://sptnkne.ws/bQfE>

ロシア、炭疽菌の疑いで90人が入院

(スプートニク 2016年08月03日 05:36)

© Fotolia/ Sudok1 <http://goo.gl/L7aG1R>

西シベリアのヤマロ・ネネツ自治区で炭疽菌の疑いにより90人が入院した。ロシアのメディアが報じた。「現時点では90人が炭疽菌の発生源からサレハルドの病院に搬送されている。みんな経過は良好。医師らが昼夜を問わず状態を見守っている。

うち50人が子供」と地方当局の代表者は述べている。先に伝えられたところによると、東京にある国立がん研究センターは29日、日本で新たにがんと診断された患者が増加したと発表した。

<http://sptnkne.ws/bQee>

米国の新型爆弾：ロシア、脅威を研究

(スプートニク 2016年08月03日 06:07)

© Flickr/ Sandia Labs <http://goo.gl/FWRpGa>

米国家核安全保障局 (NNSA) は新型原爆 B61-12 爆弾の製造のための技術的準備を開始すると発表した。生産は 2020 年までに開始するという。ロシアはこれが核均衡の観点から脅威となるかどうか検討する予定で、必要によっては脅威の最小化のための措置を取るという。新型爆弾の特性は驚くべき高精度で、誤差は数メートルを超えないという。これにより、ピンポイント核爆撃でよく守られた深部の司令部を攻撃できるようになる。

ロシアの専門家によると、ロシアがとりうる対策はミサイル複合体「イスカンデル」向け核弾頭の作成のみであり、「これ以外の効果的な答えは存在しない」。研究者は兵器を近代化するのは米国だけでなく、ロシアも同じ事をする、と強調した。

<http://sptnkne.ws/bQcP>

露土関係と「トルコストリーム」を待ち受けるものとは？「スプートニク」独占インタビュー

(スプートニク 2016年08月03日 08:25)

© 写真: TurkStream 1/2 <http://goo.gl/eyRsGy>

トルコ政府代表団のメンバーとしてロシアを訪れたゼイベクチ経済相は、「スプートニク」の独占インタビューで、ロシアとトルコには両国関係を以前のレベルに戻す意向があると述べた。経済相の話によると、経済面では関係改善に向けた最初の前提条件がすでにある。ゼイベクチ経済相は、次のように語っている—

「クーデターの試みがあった直後に我々の大統領に電話をくれた首脳の人々がプーチン氏だった。あのような雰囲気の中でウラジーミル・プーチン氏の電話は我々にとって実際に大きな精神的支えとなった。」

ゼイベクチ経済相によると、トルコ代表団のモスクワ訪問は、両国の首脳会談の準備に向けた重要なステップとなった。経済相は、両国の首脳会談ではシリア問題を含む地域の政治的問題や経済問題が議論されるとの確信を示した。

また経済相は、経済面ではロシアとトルコには関係を以前のレベルへ戻し、さらに発展させる意向があるとの見方を示し、次のように語っている—

「両国は、両国関係を 2015 年 11 月 24 日前のレベルに戻すことで 100% 合意した。私は 8 月 9 日の会談で問題が完全に解決されることへの期待を感じている。ロシア政府はすでに観光分野

でチャーター便についてポジティブな決定を承認した。トルコ産の野菜や果物のロシアへの輸出に関するポジティブな進展もある。自由貿易協定やサービスならびに投資分野のプロジェクトに関する作業も続けられる。10月には貿易経済協力に関する政府間委員会の会合も行われる見込みだ。すなわち今回の訪問は非常に生産的なものとなった。」

モスクワでの会合では、トルコがロシアのスホイ 24 戦闘機を撃墜した後に停止したアックユ原子力発電所とガスパイプライン「トルコストリーム」プロジェクトについても議論された。ゼイバクチ経済相は、次のように指摘した—

「『トルコストリーム』建設の政治的意思がある。技術的ニュアンスがいくつかあるだけだ。両国のエネルギー担当大臣がこれらを詳細に検討する必要がある。プロジェクトは必ず実現されるだろう。私はそう確信している。トルコとロシアには互いに補い合うという特徴がある。このような国は他にはない。トルコにないものはロシアにあり、その逆もまた然りだ。ロシアにはガスがあり、トルコにはそれを欧州まで運ぶ可能性がある。我々はこれを必ず利用し、両国のために最高レベルの利益に変える。」

<http://sptnkne.ws/bQfH>

盗聴防止携帯電話の開発者、スプートニクの独占インタビューに応じる

(スプートニク 年 08 月 03 日 12:22)

© Fotolia/ Matthias Buehner <http://goo.gl/2rXBBY>

1 ヶ月前、元米国国家安全保障局 (NSA) 職員エドワード・スノーデン氏は、GPS 信号の伝達を完全に遮断し、諜報機関による監視を回避することができるスマートフォン iPhone 6 用特殊カバーに取り掛かった。こうした取り組みには先例があり、ドイツでは盗聴や侵入が可能な電話が昔から開発されている。

米 NSA によるドイツ政治家への盗聴スキャンダルをきっかけに、ドイツの「ゼクスマルト」社はメルケル首相のためのいわゆる「首相電話」を開発した。同社指導部のクリストフ・エルトマン氏にスプートニクが話を聞いた。

「スノーデン氏の特殊カバーはセキュリティ領域の一部しかカバーしない」とエルトマン氏。GPS は監視に関連して現代の携帯電話に存在する多数の脆弱性の一つに過ぎないという。

「一番簡単な盗聴のやり方は、メールを書いたり電話をしたり、人が単に積極的に自分の携帯電話を使用するときを狙うというものだ。それこそ我々が多年にわたり開発しているものだ。つまり、いわゆるデータ交換におけるセキュリティ。一般市民の間で情報保護への関心が弱いのは、『上の方にいる誰かの問題であって、下層にいる自分たち平民は何も変えることができないし、そうできる状態にない』という諦念によるものだ。しかし、それは現実に全く対応し

ていない。実際には、多くのものを達成することができるのだ。私は頻繁に次のような質問を受ける。なぜ私たちにこれらのことが必要なのか。私のような民間人は隠すことが何もない、と。私はこう聞き返す。あなたは自宅でカーテンを使っているでしょう。私たちは朝シャワーした後、裸で走っている姿を、誰かに見られたくはない。秘密を持たない人というのは結局、性格も人格もない者なのだ」とエルトマン氏。

はじめに WhatsApp のようなメッセージングアプリが出現し、人々が惹きつけられ、結び合わされることは普通のことだという。それを使うことが安全なのかどうかは後から考え始めるのだ、とエルトマン氏。

「セキュリティは常に若干遅れてくる。自分自身がそうなるとは思っても見ずに潜在的に攻撃される危険のあるオープンスポットを作るのだ」とエルトマン氏。

<http://sptnkne.ws/bQfS>

ブルームバーグ通信：中国は稼働可能な原子炉数でロシアを追い越す

(スプートニク 2016年08月03日 13:23)

◎ Sputnik/ Ruslan Krivobok <http://goo.gl/d3wrrE>

中国は、稼働可能な原子炉の数でロシアを追い越す見込みだ。ブルームバーグ通信が、IAEA（国際原子力機関）のデータをもとに報道した。稼働可能な原子炉数で世界第一位にあるのは、米国で、その数は100基、第二位はフランスで58基、第三位は日本で43基の順だ。中国とロシアは、第四位で、それぞれ35基となっている。

IAEAの指摘によれば、中国は、新しい原子炉の建設を続けている。なおブルームバーグ通信のデータでは、中国はさらに20基の原子炉を建設する見込みで、近くロシアを抜き去ることは確実である。先に伝えられたところによると、エジプトとロシアはエジプト国内初の原発建設計画に関する商業契約の全ての項目で合意した。

<http://sptnkne.ws/bQAz>

中国 日本の防衛白書に厳しい反応

(スプートニク 2016年08月03日 15:44)

◎ 写真: WhisperToMe <http://goo.gl/LSESfG>

「中国は、昨日発表された防衛白書に関連し、日本に厳しい意見を伝えた」—水曜日、中国外務省の華春瑩報道官は、このように述べた。中国外務省のサイト上では、次のように述べられている—

「日本の新しい防衛白書の中では、中国の国防建設とその行動は、根拠のない批判にさらされ、内政に対する無責任な発言がなされている。中国は、これに関連して、激しい不満を表明し、日本に対し厳しい意見を伝えている。」

華報道官によれば、中国には、ジャオユイダオ（日本名：尖閣諸島）周辺を移動する奪う事の出来ない権利があり、空と海での移動は、国際法及び国内法に立脚して行われている。その際、華報道官は、改めて次のように強調した—

「中国政府は、南シナ海の問題に関するハーグの仲裁裁判所の決定を受け入れていないが、今後もあらゆる関係当事国との対話を通じて紛争を解決し、アセアン諸国と共に南シナ海の平和と安定を守ってゆくつもりである。」

先に伝えられたところによると、日本の今年度の防衛予算は、386 億円増え 4 兆 8,600 億円となった。

<http://sptnkne.ws/bQjE>

日本の内閣改造は露日関係に影響するか？

(スプートニク 2016 年 08 月 03 日 19:19)

© AFP 2016/ Wu Hong <http://goo.gl/sKRfqu>

日本では、水曜日、内閣改造が行われた。これは露日関係にどのような影響を与えるのだろうか？ロシア科学アカデミー極東研究所日本研究センターのワレリー・キスタノフ所長は、インターファクス通信のインタビューで次のように語った—

「日本の内閣改造が露日関係に影響を与えることは一切ないと思っている。安倍首相が作成した外交政策を実施してきた岸田文雄外相は留任する。」

キスタノフ氏によると、最近の露日外交協力の重要な成果の一つとして、9月にロシアで開かれる東方経済フォーラムに安倍首相が訪れる計画を挙げることができる。この訪問中に、プーチン大統領の日本訪問について明確になる可能性がある。

キスタノフ氏は、「ロシアはこれが全ての形式を踏まえたれっきとした公式訪問であることを望んでいる。この訪問で経済協力の一部を含む目に見える肯定的な結果に達するためだ。これは私の個人的な見解だが、日本にはこの訪問を非公式の形に持っていこうとするある種のムードがある」との見方を示している。

キスタノフ氏によると、日本側のこのようなアプローチは、露日間の対話発展に関心を持たない

米国からの圧力の結果だという。しかしキスタノフ氏は、それだけが理由ではないとして、次のように語っている－

「私には、日本の人々はまさに非公式の状況の方が複雑な問題を解決しやすいと感じているように思われる。かつて日本側は、クラスノヤルスクで行われた当時のエリツィン大統領と橋本首相の『ノーネクタイ』会談に大きな期待をかけた。」

この記念すべき会談では、もう少しで平和条約締結問題が解決するところだったものの、合意には至らなかった。もし日本側がまさに非公式の会談にこぎつけたとしたら、プーチン大統領との非公式会談は安倍首相の役に立つだろうか？ それともかつてのクラスノヤルスクと同じような結果に終わるのだろうか？それは時が教えてくれるだろう。

<http://sptnkne.ws/bQk5>

シリア北部アレッポの占領地区から約 50 人の住民 脱出に成功

(スプートニク 2016 年 08 月 03 日 16:18)

© AFP 2016/ Baraa Al-Halabi <http://goo.gl/YYjpQm>

水曜日、シリア政府が用意した人道回廊を通して、女性と子供 48 人が、イスラム過激派戦闘員に占領されているアレッポのシェイフ-サイダ地区から脱出した。また戦闘員 12 人が武器を置き投降した。市行政の代表がジャーナリスト達に伝えた。アレッポ市行政の職員は、次のように述べている－

「戦闘員らは、重機関銃、金属片の詰まった手製の砲、鉄管から作った手製の迫撃砲などで地区を攻撃している。」

絶えず集中砲火が続いているが、シリアで反目する勢力の和解を目指すセンターは、市民が脱出し、戦闘員の中で希望する者が武器を置く際の安全な諸条件を保証するため、できる限りのこと、時には不可能と思われることをしている。一方戦闘員らは、自分達がコントロール下に置いているゾーンから脱出しようとする人達に対し、もしそうした試みをした場合、厳しく罰すると脅迫しているとのことだ。

アレッポで人道回廊が開かれている間、救急車、食料品や生活必需品を積んだトラックなどが、そこを行き来している。特に水曜日には、ロシア軍により人道援助物資 8 トンが届けられた。先に伝えられたところによると、テロリストが、シリアのアレッポの住民居住区を攻撃した際、化学物質を含んだ砲弾を使用した。

<http://sptnkne.ws/bQkk>

マスメディア：米国、密かにイランに4億ドルを支払っていた

(スプートニク 2016年08月03日 19:55)

© AFP 2016/ Carlos Barria <http://goo.gl/EvwtWT>

ウォールストリートジャーナル紙によれば、今年の初めに米当局は投獄されていた4人の米国人の身柄を引き取るため、イランへお金を積んだ貨物機を送っていた。ホワイトハウス、議会の消息筋、さらには欧州当局者の情報という。それによれば、同機には4億ドル相当のユーロ、スイスフランその他の通貨が積まれていた。結果、仲介者の助けを借りて、イランと米国の二重国籍者4人が解放された。引き換えに米国側が7人のイラン人を釈放した。この取引についてはイランとの核合意に署名がなされた後、1月16日に発表された。翌17日、オバマ米大統領はホワイトハウスで「核取引が締結され、囚人が解放され、一つの紛争が解決されようとしている」と述べた。紛争の性質については明らかにしなかった。米国防総省のジョン・カービー報道官は、お金がイランに到着した日に米国人が解放されたのは「偶然」だとしている。先に伝えられたところによると、イランは、米国の20億ドル返却拒否を受け国連司法裁判所に訴訟を起こす準備を整えた。

<http://sptnkne.ws/bQnQ>

ロシア外務省：軍拡競争に巻き込まれはしないが、自国の安全保障は気にかけている

(スプートニク 2016年08月03日 20:00)

© Sputnik/ Evgeny Biyatov <http://goo.gl/JSQcgl>

ロシア外務省のセルゲイ・リャブコフ次官は、ロシアは高くつく軍拡競争に巻き込まれることはない、と述べた。それと同時に、モスクワは効率的な国家安全保障を気にかけている、と次官。これに先立ち、米国家核安全保障局が、新型核爆弾 B61-12 の生産開始を発表した。下院国防委員会の委員長ウラジーミル・コモエドフ氏は、ロシアは軍事計画においてこの米国の発表を考慮するだろう、と述べた。

<http://sptnkne.ws/bQq3>

クーデターの試み後、トルコで約60万人が職を失った

(スプートニク 2016年08月03日 20:49)

© AFP 2016/ Adem Altan <http://goo.gl/3JCzYP>

トルコのユルドゥルム首相は、クーデターの試み後、58,611人の解職と、3,499人の免職があった、と発表した。「クーデターの試みの調査の一環として58,611人が解職され、3,499人が免職された」。火曜、CNNトルコの放送で述べた。7月16日にかけての深夜、トルコで軍事クーデター

の試みがあった。主にアンカラとイスタンブールで衝突が起こった。最新情報によると、トルコ市民 246 人が死亡、2,000 人以上が負傷した。なおこれに反乱勢力は含まれていない。反乱勢力は鎮圧された。

<http://sptnkne.ws/bQrh>

安倍首相、ロシアとの平和条約交渉を前進させる意向

(スプートニク 2016 年 08 月 03 日 20:49)

© AFP 2016/ JIJI PRESS <http://goo.gl/CXotVB>

水曜、内閣改造で岸田文雄外務大臣を留任させた安倍首相は、ロシアとの平和条約交渉を前進させる意向だという。「我々は中国や韓国との関係を強化し、ロシアとの平和条約の締結交渉を進めていく」。東京での記者会見で語った。先に伝えられたところによると、日本政府は、安倍首相による内閣改造を前に総辞職した。緊急閣議で、閣僚全員が、しかるべき声明をを提出した。

<http://sptnkne.ws/bQsh>

米財務省：国家債務、3830 億ドル増大

(スプートニク 2016 年 08 月 03 日 20:49)

© Flickr/ Son of Groucho <http://goo.gl/QUz4sE>

米国の政府債務額は 2016 年の下半期に 3,830 億ドル増大する。米国財務省の報告。米国財務省は、7 月から 9 月までの期間、市場における 2,010 億ドルの借入を想定している。5 月の予想よりも 470 億ドル大きい数字だ。また、10 月から 2016 年 12 月までの期間は、「市場に 1,810 億ドルの債券を放出する」。債務増大は外部収入の減少にともなうものだという。前に伝えられたところによると、米国の大富豪ジョージ・ソロス氏が、長いブランクを経て金融市場へ舞い戻った。

<http://sptnkne.ws/bQt9>

日本の外交・防衛政策を待つものとは—専門家の見解

(スプートニク 2016 年 08 月 03 日 21:41)

© AFP 2016/ Mandel NGAN <http://goo.gl/yJY7Ut>

日本の外交政策が内閣改造を受けて変わることはない。モスクワ国際関係大学東洋学部部長で政治学者、国際関係分野の専門家のドミートリイ・ストレリツォフ氏は、このような考えを表してい

る。安倍首相は2日、内閣改造を行い、岸田文雄外相を留任させたが、防衛相に女性の稲田朋美氏を起用した。金融担当相の麻生太郎氏は留任し、経済産業相には官房副長官の世耕弘成氏が初入閣した。

ストレリツォフ氏は、「日本の外交路線の基盤は維持された。そのため外交政策の指導部に変化はない。外相のポストには岸田文雄氏が留任した」と述べた。ストレリツォフ氏によると、安倍首相自らが個人的に外交路線を管理していることも考慮する必要がある。ストレリツォフ氏は次のように語っている―

「安倍氏は、特に外交政策分野などの政策立案の多くの問題に個人的に取り組む権威主義的タイプの政治家だ。そのため外交政策の変更はない。」

ストレリツォフ氏はまた、ロシア大統領の訪日準備とその実現に関する問題を含む現在の露日関係の議題は、少なくとも年内まではその切実性が保たれるとの見方を示している。ストレリツォフ氏は、「これについてはさらに多くのものが、9月初旬にウラジオストクで行われる露日首脳会談の結果に左右されるだろう」と述べている。なおストレリツォフ氏は、防衛相に稲田朋美氏が起用されたことについて、この動きは十分に苦しい経済状況の中で安倍内閣の人気を高めるためのものだ、との見方を示し、次のように語っている―

「稲田氏は一般の人々によく知られた人物だ。同氏はPR技術を駆使しており、彼女にはオープンな公共政策のイメージがある。安倍首相は恐らく稲田氏を新内閣の目玉の一つにしようとしており、もしかしたら更なるキャリアのための基盤を準備したり、彼女という人物において自分の後継者を準備しているのかもしれないが、これについては何とも言い難い。」

またストレリツォフ氏は稲田氏の防衛相への起用は、日本の防衛政策が特に北朝鮮の脅威という観点から新たな修正を必要としていることに関連している可能性があると考えている。さらにストレリツォフ氏は、世耕氏の経済産業相への起用についてもコメントし、世耕氏は「それほど一般の人々に知られている政治家ではないが、同氏は官房副長官として安倍首相への忠誠心を証明し、大臣に任命されたのは同氏の今後のキャリアの奨励のようだ」との見方を表している。ストレリツォフ氏は、「すなわち今回の内閣改造では、想像できた人は少ないと思われる稲田氏の起用以外に大きな意外な出来事はなかった」と述べた。

<http://sptnkne.ws/bQvB>

英紙、自国内のプロパガンダに注意するよう読者に呼びかけ

(スポーツニク 2016年08月03日 21:54)

© Fotolia/ Pio Si <http://goo.gl/9rVneP>

英紙ガーディアンはロシアのメディアだけでなく自国のそれにも危機感をもって接するよう呼び

かける分析記事を掲載した。大手外国マスメディアで最近とみに西側に対するロシアの「プロパガンダ戦争」についての見出しが見られる。その際西側メディアのニュースソースは「客観的かつ真実」なものとして示されている。

実際には、このような声明に科学的根拠はない。多くの研究者が、特に外交の分野で、西側メディアと政府の立場に近いことを指摘している。例えば、マンチェスター大学の研究者が 2003 年に、英国のメディアのほとんどがイラク侵攻に対する政府の味方を支持していることを突き止めた。これは戦争を支持するよう国民を説得するために必要なことだった。こうした世論操作は西側メディアではシステムチックに行われている、とガーディアン紙。

情報の奔流に飲まれないために、西側メディアが自由に操作されていないものとは考えず、また外国の政府や情報ソースを悪魔化しないよう、同紙は呼びかけている。「プロパガンダ的」とされるものも含めて、さまざまな供給源から有用な情報を得ることができるということを認めるべきときだ、とのこと。先に伝えられたところによると、米國務省は 2016 年 2 月、同国は約 40 億ドルを「ロシアによる侵略」対策につかうと発表した。これはロシアの隣国への軍事・経済支援のみならず、情報活動も意味する。

<http://sptnkne.ws/bQwM>

WADA元会長：ロシア当局は、陸上競技のドーピングスキャンダルに未関与

(スポーツニク 2016 年 08 月 03 日 23:51)

○ AFP 2016/ Justin Tallis <http://goo.gl/1o6ryp>

ロシア陸上競技界のドーピングスキャンダルを調査してきた、世界アンチドーピング機構（WADA）の元会長リチャード・パウンド委員の調査グループは、国が、全ロシア陸上競技連盟の活動に介入していたことを裏付ける証拠を見つけることはできなかった。WADAのクレイグ・リーディ会長は、このように述べた。

国際陸上競技連盟（IAAF）は昨年 11 月、ドーピングスキャンダルにより、全ロシア陸上競技連盟を資格停止にした。その後、ロシアの選手達は、国際競技大会に出られないでいる。IOC総会でWADAのリーディ会長は「パウンド委員の報告と結果を検討して、私が言えることは、委員会はいかなる国家介入の証拠も見つけられなかったという事だ」と指摘した。

火曜日、リオデジャネイロでは、IOCの第 129 回総会が始まった。代議員達は、ロシア選手のオリンピック参加問題について討議する一方で、WADAの仕事ぶりを批判した。

<http://sptnkne.ws/bQA5>

米国と日本、北朝鮮のミサイル発射にともない国連安保理緊急会議招集へ

(スプートニク 2016年08月04日 01:39)

© Flickr/ United States Mission Geneva <http://goo.gl/WDzNel>

日本と米国は、北朝鮮の弾道ミサイル発射との関連で、国連安全保障理事会の緊急会議を招集する。3日、サマンサ・パワー米国国連常駐代表が発表した。「日本の同僚たちと一緒に今日中に安全保障理事会の緊急会議を招集したい」とのこと。韓国参謀幹部委員会は先に、北朝鮮が今日7時50分（日本時間）に黄海南道から日本海へ向けて弾道ミサイルを発射したと発表した。

<http://sptnkne.ws/bQz8>

リオ五輪公式サイトでロシア代表メンバー発表、総勢 280 人

(スプートニク 2016年08月04日 03:43)

© Sputnik/ Anton Denisov <http://goo.gl/Mt8T34>

8月3日、リオ五輪公式サイトで、ロシア代表チームのメンバーが発表された。280選手が178種目に参加する。IOCは24日、ロシアチーム全体を五輪から排除せず、個々の選手についてそれぞれのスポーツを統括する国際競技連盟が承認を行う、との決定を行った。

先に伝えられたところによると、ロシア陸上競技界のドーピングスキャンダルを調査してきた、世界アンチドーピング機構（WADA）の元会長リチャード・パウンド委員の調査グループは、国が、全ロシア陸上競技連盟の活動に介入していたことを裏付ける証拠を見つけることはできなかった。

<http://sptnkne.ws/bQA6>

ロシアで、ヒムラーの日記の衝撃的な断片が見つかる

(スプートニク 2016年08月04日 04:20)

© AP Photo/ Frank Augstein 1/2 <http://goo.gl/v6KR5Y>

ポドルスクのロシア国防省アーカイブでナチ親衛隊全国指導者ハインリヒ・ヒムラーの日記の新たな断片が発見され、ナチス高官の日常生活の衝撃的な詳細が明らかにされた。日記でヒムラーは、「10人のポーランド人の処刑前にマッサージを受けた」こと、「ブッヘンヴァルトの前菜が好き」なことを書いている。

また、アウシュヴィッツで「人々を嘔み裂く」ために犬を訓練するよう親衛隊に命じた、とも書

いている。日記は1938年、1943年、1944年のもので、モスクワのドイツ歴史研究所が調査を行う。先に伝えられたところによると、ドイツの歴史家たちは、アドルフ・ヒトラーの兄とされていたオットー・ヒトラーは、実は弟だったと発表した。

<http://sptnkne.ws/bQA9>

欧州の刑務所はイスラム過激派の温床に

(スプートニク 2016年08月04日 07:02)

◎ AP Photo/ Vincent Thian <http://goo.gl/H8iB7g>

欧州の刑務所は、イスラム過激派の温床になっており、圧倒的多数のテロリストらは、刑期を新しい攻撃の準備やメンバーのリクルートのために利用している。新聞 The Wall Street Journal. はこのように指摘した。

パリでのテロを組織した疑いがもたれているサラフ・アブデスラムを収監しているフルーリー - メロギ刑務所のマルセル・ジュルドン看守は「彼が来たことは、囚人達の間でかなりの騒ぎとなった」と述べ「中には、救世主のように彼を歓迎したものもいた」と報告している。

なお有罪となったテロリストらは、フルーリー-メロギなどの刑務所内の社会的ヒエラルキーでは最上位にある。その権威は、彼らが刑務所内で独自の規則を決定するほど高く、例えば、裸でシャワーを浴びてはならないとか、音楽を聴いたり、女子テニスの試合の中継を見てはならないなど、自分達のルールを他の囚人にも押し付けている。

最も危険なのは、彼らが、自分達の刑期を軽犯罪を犯した人達、とりわけ欧州諸都市の郊外に住むイスラム系の人達との関係を作り出す場として利用していることで、彼らは、そうした人々に対し、シリアやイラクそしてアフガニスタンでの戦いに出発するよう提案したり、あるいは自国でテロを行うようそそのかしたりしている。先に伝えられたところによると、アンゴラ政府は、数千の囚人を自由の身にする新たな恩赦法を採択した。

<http://sptnkne.ws/bQAA>

北朝鮮を脅威、中国を懸念の源とみなす日本。ロシアにはどのようなポジションが与えられたのか？

(スプートニク 2016年08月04日 07:31 リュドミラ・サーキャン)

◎ Sputnik/ Alexei Druzhinin 1/2 <http://goo.gl/eb1fsx>

8月2日に公表された日本の2016年版防衛白書では、北朝鮮のミサイルプログラムが重大な脅威と指摘された。なおこれは現実によって確認された。北朝鮮は8月3日に中距離弾道ミサイルを発

射した。

日本は東シナ海及び南シナ海での中国の活動にも懸念を抱いている。中国の行動に対する批判の高まりは、今年の防衛白書の特徴となっているが、これは中国側を刺激した。中国国防省の呉謙報道官によると、日本はこのような形で地域と世界の緊張をエスカレートさせようとしているという。エヴゲーニー・プリマコフ記念世界経済・国際関係研究所の職員クリスティーナ・ヴォダ氏は、このような状況について次のようにコメントしている—

「防衛白書の中で北朝鮮は国際社会全体の安全に対する重大な不安定要因とされているが、中国は脅威だとは直接指摘されていない。中国の行動が懸念を呼んでいると述べられているだけだ。それらの行動とは、中国船による尖閣諸島海域の日本の領海への侵入を意味している。また日本は東シナ海上空の防空識別圏の設定も極めて非友好的な行動だと考えている。人工島造成やそこでの軍事インフラ整備など南シナ海での中国の活発な活動も日本に懸念を抱かせている。日本は、中国がこのような形で力の現状を変えようとしていると考えている。しかし防衛白書の結論は『なだめる』ようなものだと言うことができる。文書では、これら全てが地域や世界の安全保障面での懸念を呼んでいると述べられている。しかしこの懸念を取り除くためには、よりオープンになることを目指し、相互理解を深め、全ての問題に関する対話を発展させる必要がある。すなわち白書には中国に対話の実施を呼びかける試みがあるということだ。安倍首相は、海上での危険な行為を防ぐための『ホットライン』の設置が必要だと考えている。」

中国は現在、東シナ海で大規模な軍事演習を行っている。9月には今回の演習に引けを取らない大規模な演習が始まるが、それはロシアと合同で南シナ海で行われる。なおロシアについてだが、防衛白書の中では特に南クリルなどの東部国境付近でのロシア軍の活動の活発化が指摘されている。また「ロシアによるシリアへの軍事介入は、一連の軍改革の成果の現れや、国際的影響力拡大を企図した動きとして注目される」と述べられている。ヴォダ氏はさらに次のように続けている—

「ロシアに対しては北朝鮮や中国のような表現は用いられていない。ウクライナをめぐるロシアの行動は、アジアを含む国際社会全体に影響を与える可能性のあるグローバルな問題としてみなされていると述べられている。またロシアは厳しい経済状況の中で自国の軍事力の増強を続け、アジア太平洋地域などで演習を行っている」と記されている。しかし日本の防衛白書ではすでにずいぶん前からロシアは脅威として言及されていない。」

<http://sptnkne.ws/bQAB>

慰安婦問題、今度こそ終止符？ 新財団は使命を果たせるか

(スプートニク 2016年08月04日 09:01 徳山あすか)

◦ Flickr/ Melissa Wall 1/2 <http://goo.gl/XGEvFp>

先月28日、旧日本軍の従軍慰安婦に関わる問題解決のため、韓国で「和解・癒し財団」が発足し

た。この財団は、昨年12月の「最終的かつ不可逆的な解決」をするという日韓合意に基づき設立されたもので、日本政府は8月中にも10億円を拠出する見込みだ。

過去にも、元慰安婦を支援するための組織が存在した。1995年に設立され、2007年に解散したアジア女性基金だ。アジア女性基金は、当初韓国内で肯定的に受けとめられたが、後に否定的な評価を受け、慰安婦問題のしこりは残り続けることとなった。韓国政治に詳しい奥菌秀樹氏（静岡県立大学・国際関係学研究所准教授）は、アジア女性基金が失敗に終わった理由について次のように話している。

奥菌氏：「1965年に日韓国交正常化した際、日韓請求権協定が結ばれました。その中には両国間および両国民間の請求権に関する問題が、『完全かつ最終的に解決』されたことを確認する、と明記してあります。これが日本の法的な立場です。しかし韓国の主張は、請求権協定の中に慰安婦問題は含まれておらず、日本政府に法的責任が残っているというものです。問題は法的に解決済みであることを前提に、道義的観点から何ができるのか、ということで考え出されたのがアジア女性基金です。アジア女性基金の活動にあたり、医療や福祉にかかる費用を日本の予算で支援することは、道義的責任の見地から差し支えありませんでした。しかし問題は現金支給です。元慰安婦の方に償い金という形で一人あたり200万円を渡すことになりましたが、償い金を国の予算から出すと、『法的に解決済み』という日本の立場にそぐわないので、償い金は募金でまかなうことになりました。結果、韓国は『日本は国家として責任を認めていない』と反発し、アジア女性基金は失敗に終わりました。」

和解・癒し財団では、故人も含めた元慰安婦に現金支給を予定しているが、前回の反省をふまえた形になっている。

奥菌氏：「12月の合意では、元慰安婦の方々に対し、名誉と尊厳の回復、および心の傷の癒しのために日本政府の予算で事業を行うということになっています。韓国側にすれば『これは日本政府の予算なのだから、事実上日本が国家としての責任を認め、反省している』という解釈ができます。また日本は国内向けに、『元慰安婦の名誉と尊厳の回復、および心の傷を癒すために予算を使うのであって、法的に解決済みということについては一歩も譲歩していないのだ』と説明することができます。この合意は、日本も韓国も一定程度満足できるラインで、しかもアジア女性基金よりは一歩前進した形で、落としどころを探ったものだと言えます。」

大統領の再選が禁止されている韓国で朴槿恵政権の任期は残り一年半となった。今年4月の国政選挙でも与党セヌリ党は惨敗し、朴政権の求心力低下は避けられない。このような政局において、和解・癒し財団は使命を果たすことができるのか。奥菌氏は「韓国が合意に基づいた措置を着実に履行していけるよう、日本も側面支援をすべき」と指摘している。

奥菌氏：「ようやく辿り着いた合意を双方が大事にし、着実に前進させていかなければなりません。ソウルの日本大使館前の少女像については日本側がこのタイミングで撤去するよう強く求めすぎると、逆に日韓の合意そのものを履行することが厳しくなる事態を招きかねません。少女像の件は、韓国政府が適切な解決に向けて努力をしている限りは、日本側も長い目で見て、あくまで合意

に基づいた措置を淡々と進めておくということが求められていると思います。それが、この問題を次期政権に引きずらないためにも重要なことです。」

<http://sptnkne.ws/bQAC>

米国人ジャーナリスト：米国はもう朝鮮半島から撤退するべき

(スプートニク 2016年08月04日 10:01)

© AP Photo/ Ahn Young-joon <http://goo.gl/7u15ff>

米国の新大統領にとっても北朝鮮は悪夢でないとすれば頭痛の種となるだろう。ジャーナリストのダグ・バンドウ氏が、米雑誌ナショナル・インタレスト向けの記事の中で述べている。バンドウ氏は、経験上、米大統領に北朝鮮を「無力化」する力はなく、根本的に新たなアプローチが必要だと指摘している。バンドウ氏によると、米軍の朝鮮半島駐留はずいぶん前からアナクロニズムになったという。バンドウ氏は次のように主張している—

「韓国は現在、北朝鮮抑止のために必要なことを全て行う能力があり、さらに北朝鮮に勝つ能力もある。だが韓国は自国の軍を発展させていない。なぜなら米国がリソースを投入し、韓国を守るために自国民の命を危険にさらし続けているからだ。冷戦時代にはそこに意味はあったが、グローバルな対立が存在しない今、朝鮮半島はもはやそのような重要な役割を演じることはなく、いずれにしても米国の安全保障にとって重要な意味を持ってはいない。」

2つ目としてバンドウ氏は、米国の韓国からの撤退は北朝鮮の金正恩第1書記がこれ以上米国に対して攻撃的な声明を表さないことを意味するだろうと指摘し、次のような見解を表している—

「なぜなら金正恩氏はメキシコを脅してもいなければトロントを徹底的に破壊するよう呼びかけてもいない。そしてEUに対してもそのような声明を表してはいない。ナイジェリアやブラジルなどの国々は、北朝鮮を敵リストに加えていない。もし米国が北朝鮮を戦争で脅さなければ、金正恩氏は米国のためにエネルギーを消費することはないだろう。」

バンドウ氏は、金正恩氏を罪のない犠牲者として考えてはならないが、それでも金氏の振る舞いは合理的だと指摘している。圧倒的な軍事力を持つ米国は、それを使って自分たちの望み通りに政権を交代させ、統治を脅かしている。米国が、自国の核およびミサイルプログラムを放棄したカダフィ大佐のリビアを攻撃した後、米国当局者を信じてはいけなかったことが明らかとなった。バンドウ氏は、「米国が朝鮮半島から撤退した場合には、北朝鮮が中国に耳を傾けるきっかけがさらに増えることになる。北朝鮮が核兵器やミサイル開発を完全に放棄しないとしても、その数について合意するチャンスが生まれる可能性がある」との考えを表している。

<http://sptnkne.ws/bQAD>

米軍人 シリアに関するロシアとの協力開始の指示を待つ

(スプートニク 2016年08月04日 11:00)

© Sputnik/ Dmitriy Vinogradov <http://goo.gl/ygefo4>

米中央軍 (USCENTCOM) のジョセフ・ヴォーテル司令官は先週、米国の軍人たちは指示を受けたらすぐにシリアのロシアの同僚たちとの新たな協力レベルに移行する用意があると発表した。

ヴォーテル司令官はコロラド州アスペンで開かれた安全保障に関するフォーラムで、「我々は継続して行われている (政治レベルでの) 議論を注視している。問題が解決され、我々に指示が与えられたら、我々は協力の次のレベルへ移行する用意がある」と述べた。なおフォーラムは米国防総省のホームページで中継された。

ヴォーテル司令官は、現時点でシリアでのロシアと米国の軍人たちの活動はシリアにおける飛行の安全保障に関するメモランダムに限られていることを認め、「協力はまだない」と述べた。先に伝えられたところによると、NATO欧州連合軍最高司令官を務めるカーティス・スカパロッチェ陸軍大将が、ロシア軍の軍事ドクトリンと進歩に感銘を受けた。

<http://sptnkne.ws/bQAE>